

久喜市図書館サービス基本計画

久喜市教育委員会

目次

I	計画策定の趣旨	1
1	計画策定の趣旨.....	1
2	計画の期間.....	1
II	現状と課題	2
1	計画策定の背景.....	2
	(1) 社会環境の変化.....	2
	(2) 国の動向.....	2
2	市民の意識.....	3
	(1) 図書館利用者の動向.....	3
	(2) 図書館に関する意識.....	4
	(3) 図書館への要望.....	4
3	久喜市の状況.....	5
	(1) 図書館の現状.....	5
	(2) 施設の概要.....	6
4	図書館サービスの現状と課題.....	7
	(1) 資料収集と蔵書状況.....	7
	(2) 利用状況.....	8
	(3) レファレンスサービス.....	10
	(4) 児童・青少年サービス.....	10
	(5) 障がい者サービス.....	11
	(6) 高齢者サービス.....	12
	(7) 視聴覚サービス.....	13
	(8) 学習活動の支援.....	14
5	図書館を取り巻く状況と課題.....	15
	(1) 職員体制.....	15
	(2) 図書館サービス拠点の整備.....	15
	(3) 学校図書館との連携.....	15
	(4) 県立図書館及び県内公共図書館との連携.....	16
	(5) ボランティアとの連携.....	16
	(6) 運営体制.....	16
	(7) 高度情報化への対応の充実.....	16

Ⅲ 基本的な考え方	18
1 基本理念.....	18
2 基本目標.....	18
3 サービス計画の体系表.....	20
Ⅳ 具体的施策・事業	21
施策1 レファレンスと課題解決型サービスの充実.....	21
施策2 小・中学校図書館との連携機能強化と学校や教職員への支援...	23
施策3 ICT（情報通信技術）を導入した高度な情報提供の推進.....	25
施策4 図書館・図書室間のネットワークや関連機関との連携体制の整備...	26
施策5 さまざまな利用者に対応したサービスの充実.....	28
施策6 市民ニーズに応じた効果的・効率的図書館運営.....	30
Ⅴ 重点施策	32
資料編.....	33
資料1 久喜市立図書館利用者アンケート結果（平成23年）.....	33
資料2 久喜市立図書館利用者アンケート結果（平成28年）.....	49
資料3 アンケート用紙.....	61
資料4 計画策定の経緯.....	63
資料5 久喜市立図書館協議会委員名簿.....	64

I 計画策定の趣旨

1 計画策定の趣旨

市民の意識の高揚や市民を取り巻く環境の変化により、市民の知的要求や生涯を通じて学ぼうという意欲はますます高まる傾向にあります。

このような中であって、公共図書館に求められる役割も、従来の「借りる・読む・調べる」とどまらない、利用者の「課題解決に役立つ情報拠点」へと大きく変わりつつあります。それぞれの図書館の特性を踏まえながら、市民の課題解決に役立つ情報提供力の強化やあらゆる利用者層のライフステージに対応できるサービスの改善と充実、施設間の連携など、サービス体制の再構築が急務となっています。

現在の図書館を取り巻く状況に的確に対応し、本市図書館のサービス向上を総合的かつ計画的に推進するため、図書館のあり方や方向性を明らかにし、効果的なサービスを展開する「久喜市図書館サービス基本計画」を策定するものです。

2 計画の期間

この計画は、当初平成24年度を初年度として、平成28年度までの5年間でしたが、平成28年度に「こども図書館」の整備構想が浮上したことから、平成30年度まで延長することにしました。

平成29年度には、市立図書館の開館日数の拡大と利用時間の延長などの課題を解決するため、「久喜市立図書館の今後の運営について」の検討が始まり、「今後市立図書館のサービス向上を図っていくためには、既存4図書館については、指定管理者制度の導入を図ることが望ましい」との結論に達しました。

また、平成30年11月市議会定例会において指定管理者制度の導入が議決されましたことから、指定管理者による管理・運営状況等を見極めた上で、次期計画の早期策定が求められているため、計画期間を平成32年度まで延長することとしました。

ただし、上記期間中において、今後の社会情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて適宜見直しを行うこととします。

Ⅱ 現状と課題

1 計画策定の背景

(1) 社会環境の変化

出生率の低下による年少人口の減少と核家族化によって子どもが育つ環境が急激に変化し、地域の中で読書環境や学習環境を整えていかなければならないことや、「団塊の世代」の高齢化や平均寿命の伸びにより、高齢社会が進展していることから、図書館が学習や活動の場として役割を果たさなければならなくなってきました。

また、近年の雇用環境や社会構造の変化、高度情報化社会の進展により、より高度で多様な情報提供の役割を担うことが、今、図書館に求められています。

子どもの学習能力・読書力の低下が問題となっている昨今、調べ学習等の支援や読書活動において図書館の持つ図書資源や図書館サービスのノウハウを生かして、学校図書館を支援していくことが重要な役割となっています。

(2) 国の動向

図書館をめぐる近年の動向として、平成13年7月に、文部科学省より、図書館法第18条に基づき「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が示されました。このなかで市町村立図書館は「住民のために資料や情報の提供等直接的な援助を行う機関」と位置づけられています。

『望ましい基準』施行後の社会や制度の変化、新たな課題等に対応して、平成18年4月には、「これからの図書館像～地域を支える情報拠点を目指して～」がまとめられ、これまでの「貸出中心」の図書館像から、図書館の持つ「情報提供」「課題解決」機能を十二分に発揮し、「地域を支える情報拠点」「地域や住民に役立つ図書館」としていくため、これからの図書館運営に必要な新たな視点や方策等について提言をしています。

また、近年子どもの読書離れが問題となっていることから、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されました。この法律では、「すべての子どもがあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」ことを基本理念とし、国・地方公共団体・事業者・保護者それぞれの果たすべき役割を規定しています。特に、公立図書館に対しては、豊富な資料を提供すること

や、学校図書館と緊密に連携を取ることを求めています。

また、平成17年7月に施行された「文字・活字文化振興法」では、文字・活字文化の振興に関する国及び地方公共団体の責務を明らかにする中で、地域における文字・活字文化の振興にあたっては、公立図書館が住民の需要に対応する役割を果たすべきであると定めています。

2 市民の意識

計画の策定にあたっては、平成23年2月に実施した、図書館利用者アンケートの結果（33ページ以降参照）を参考にしました。

また、計画期間の延長にあたっては、平成28年5月に実施した、図書館利用者アンケートの結果（49ページ以降参照）を参考にしました。

(1) 図書館利用者の動向

平成23年2月のアンケート調査によりますと、利用者の年齢層は、60歳代が最も多く、60歳代以上で全体のおよそ3分の1を占めます。また、利用者の男女の比率は、全体では、女性がやや上回りますが、地区別には、菖蒲図書館と鷺宮図書館では女性の利用者が多く、中央図書館と栗橋文化会館図書室では男性のほうが多くなっています。

利用者の居住地域や利用回数については、それぞれの居住地域の利用者が約8割を占め、「月1～3回」の利用者が最も多く、次いで「週1～3回」となっています。

また、よく利用する時間帯は「12～15時」が最も多く、平均滞在時間は「30分」が最も多く、比較的短時間利用者が多いようです。

平成28年5月のアンケート調査では、利用者の年齢層は、60歳代が最も多く、60歳代以上で全体の4割を占めます。また、利用者の男女の比率は、全体では、女性が6割弱で、地区別にも、全ての図書館で女性の利用者が多くなっています。

利用者の居住地域の割合は、中央図書館が一番多く8割弱、菖蒲・栗橋・鷺宮図書館は、6割強です。特徴的なのは、鷺宮図書館の利用者で、久喜地区の方が2割強いらっしゃることです。

図書館利用回数は、「月1～3回」の利用者が最も多く、次いで「週1～3回」

となっています。

また、よく利用する時間帯は「9～12時」が最も多く（37.1%）、次いで「12～15時」（34.0%）と、9～15時の時間帯で約7割の利用となっています。

なお、平均滞在時間は、「30分」が最も多く（45.9%）、次いで「1時間」（40.0%）となりました。

(2) 図書館に関する意識

平成23年2月のアンケート調査によりますと、利用目的は、本やCD・DVD資料の「貸出・返却」が圧倒的に多く、次いで本や雑誌を読むための来館者が多くなっています。インターネットや調べ物等の情報提供サービスのための利用者は少なくなっています。

また、図書館への満足度については、「満足」「ほぼ満足」をあわせて「図書・雑誌・新聞数」が7割、「CD・DVD数」が4割しか満足と感じていない結果となりました。「閲覧席数」「視聴コーナー」については7割以上、「リクエストサービス」「質問問い合わせ対応」などについては、ほぼ9割が「満足」「ほぼ満足」と回答しています。いずれの質問に対しても、栗橋文化会館図書室では、スペースの狭さに起因する資料数の少なさや設備未設置により、「不満」「やや不満」を占める数値が高い結果となっています。

平成28年5月のアンケート調査では、利用目的は、本やCD・DVD資料の「貸出・返却」が圧倒的に多く、次いで本や雑誌を読むための来館者が多くなっています。

また、図書館への満足度については、「満足」「ほぼ満足」をあわせて「図書・雑誌・新聞数」が8割弱、「CD・DVD数」6割強満足と感じているとの結果となりました。

「閲覧席数」「視聴コーナー」については8割以上、「リクエストサービス」「質問問い合わせ対応」などについては、9割強が「満足」「ほぼ満足」と回答しています。

(3) 図書館への要望

図書館への要望として、利用者が最も求めているものは、図書館本来の役割である「資料の充実」であると言えます。それに付随して、「館内でパソコンやインターネットなどの利用ができる環境整備」「子ども向け行事の拡充」の順で要望が大きくなっています。

充実してほしい図書資料の分野は「趣味・娯楽書」が最も多く、次いで「文芸書」「実用書」「CD・DVD」の順となっています。

3 久喜市の状況

(1) 図書館の現状

平成22年3月の合併により、旧久喜市、旧菖蒲町、旧栗橋町、旧鷲宮町の1市3町が久喜市となり、図書館の数が4館に、公民館図書室も東公民館、西公民館、森下公民館の3室となりました。

合併後、図書配送として各図書館間の巡回車の運行等のサービスを開始するとともに、平成23年3月には、図書館システムを統合し、4図書館、3公民館図書室の7施設は、インターネットやOPAC（館内利用者端末機）からの資料の予約申込や返却期限の延長、メールでのお知らせなどができるようになりました。

また、平成22年度から順次各館で、ICタグ資料管理システムを導入し、貸し出し、返却手続きの効率化が図られてきました。旧久喜市では、平成21年度から祝日開館を実施していましたが、合併と同時に全館において実施しております。

なお、市立図書館では、平成29年度から、久喜市立図書館協議会において、「久喜市立図書館の今後の運営について」協議を行った結果、「今後市立図書館のサービス向上を図っていくためには、既存4図書館については、指定管理者制度の導入を図ることが望ましい」との結論に達しましたことから、教育委員会及び市議会の議決を得て、平成31年4月から、指定管理者による管理・運営を行うことになりました。

(2) 施設の概要

図書館名	中央図書館	菖蒲図書館	栗橋文化会館 図書室	鷺宮図書館
開館年月 創立年月	昭和62年10月20日 昭和56年4月1日	平成10年6月1日 昭和48年3月27日	平成6年11月7日 平成6年11月1日	平成9年10月28日 平成2年4月2日
形態	独立	菖蒲文化会館併設	栗橋文化会館併設	郷土資料館併設
構造	鉄筋コンクリート造 地上2階建	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上3階建	鉄筋コンクリート造 地上2階建	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上2階建
延床面積 (図書館部分)	1,283㎡ (1,283㎡)	4,4461.06㎡ (1,000㎡)	3,537.3㎡ (257㎡)	2,628.92㎡ (1,315㎡)
館内施設	一般開架室 レファレンスコーナー 児童コーナー AV・ブラウジングコーナー 視聴覚室 郷土資料室 会議室 読書室	一般書コーナー レファレンスコーナー 幼児・児童コーナー ブラウジングコーナー 視聴覚ブース 町ゆかりの作家コーナー 幼児・児童コーナー キャレルコーナー	一般書コーナー 児童コーナー ブラウジングコーナー	一般書コーナー レファレンスコーナー 児童書コーナー AVコーナー ブラウジングコーナー おはなしコーナー 朗読サービス室 視聴覚ホール
所在地	吉羽 1-40-1	菖蒲町菖蒲 85-1	伊坂 1557	鷺宮 5-33-1
開館時間	午前9時から 午後7時30分まで	午前9時から 午後7時30分まで	午前9時から 午後7時30分まで	午前9時から 午後7時30分まで
休館日	毎月 第3火曜日	毎月 第2水曜日	毎月 第3火曜日	毎月 第2水曜日
	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始(12月29日から1月4日まで) ・定期整理休館日(毎月最終金曜日) ・特別整理休館日(館ごとに年1回6日以内の期間) ・その他(館長が特に必要があると認めるとき・図書館に併設する久喜市菖蒲文化会館、久喜市栗橋文化会館及び久喜市立郷土資料館が休館する影響で休館せざるを得ないと認めるとき) 			

4 図書館サービスの現状と課題

(1) 資料収集と蔵書状況

【現 状】

本市は、現在、「久喜市立図書館資料収集方針」に基づき、図書館資料を収集し、整理し、提供しております。収集した資料は、閲覧・貸出に供するため保存・管理されています。しかしながら、4図書館の書架は既に飽和状態にあり、このままでは蔵書の充実に支障をきたし、市民の資料要望に的確・迅速に応えることが難しい状況にあります。

平成 22 年度蔵書所有状況

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

	一般書	児童書	参考図書	郷土資料	雑誌	C D	LD・DVD	ビデオ	計
中央	98,718	49,883	6,150	5,348	73	5,613	1,396	0	167,181
菖蒲	68,720	28,725	1,564	3,752	49	155	306	440	103,711
栗橋	25,046	12,275	0	704	21	0	0	0	38,046
鷲宮	72,482	38,129	2,698	788	39	2,136	380	2,408	119,060
計	264,966	129,012	10,412	10,592	182	7,904	2,082	2,848	427,998
割合	61.9	30.1	2.4	2.5	0.1	1.8	0.5	0.7	100.0

平成 29 年度蔵書所有状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

	一般書	児童書	参考図書	郷土資料	雑誌	C D	LD・DVD	ビデオ	計
中央	111,902	55,409	6,568	6,165	114	6,182	1,896	0	188,236
菖蒲	69,346	31,433	1,659	4,547	67	293	525	395	108,265
栗橋	32,349	17,340	950	1,569	35	7	15	0	52,265
鷲宮	83,467	42,458	2,309	972	43	2,174	774	18	132,215
計	297,064	146,640	11,486	13,253	259	8,656	3,210	413	480,981
割合	61.7	30.5	2.4	2.7	0.1	1.8	0.7	0.1	100.0

【課 題】

■ 市民ニーズにこたえる蔵書機能

各図書館は、資料に対する市民ニーズを捉えたなかで資料収集を進めながら、豊富で多様な蔵書の構築を図ることが必要です。

■ 資料保存機能の充実

図書館が積極的に資料収集を進め、永続的に資料や情報の提供を行う

ためには、図書館資料を適切に保存・管理する場所の充実が早急の課題と
なっています。独自の資料保存スペースを確保することや他図書館との
共同保存など、保存機能を高める対策を検討する必要があります。

(2) 利用状況

【現 状】(平成23年2月のアンケート調査)

60歳代の占める割合が他の年齢層に比較して多いことが分かります。特
に鷺宮図書館では、60歳代・70歳代・80歳代の利用者で3分の1以上
を占めることと、栗橋文化会館図書室では、10歳代の利用者が少ないこと
と20歳代・30歳代・40歳代の利用者が多いことがわかります。

利用者の年齢別構成 (平成23年2月現在 単位:%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答
中央	5.0	8.1	19.1	16.3	20.1	22.1	7.8	1.5	0.0
菖蒲	9.2	8.5	17.0	15.7	18.3	20.9	9.8	0.0	0.6
栗橋	1.0	11.0	19.0	19.0	18.0	22.0	10.0	0.0	0.0
鷺宮	13.0	5.6	15.8	14.3	14.6	25.0	8.4	1.8	1.5
全体	8.2	7.5	17.6	15.7	17.6	23.0	8.5	1.2	0.7

【現 状】(平成28年5月のアンケート調査)

60歳代の占める割合が他の年齢層に比較して多いことが分かります。特
に鷺宮図書館では、60歳代・70歳代・80歳代の利用者で50%を超え
ていることと、10歳代・20歳代の利用者が少ないこと。また、栗橋文化
会館図書室では、30歳代・40歳代の利用者が多いことがわかります。

利用者の年齢別構成 (平成28年5月現在 単位:%)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答
中央	10.5	6.9	13.0	15.5	13.6	23.7	14.9	1.5	0.4
菖蒲	10.7	5.0	13.2	16.4	13.2	31.4	9.4	0.6	0.0
栗橋	8.8	5.3	16.8	21.2	11.5	22.1	10.6	2.7	0.9
鷺宮	3.0	2.5	14.9	17.9	11.7	30.5	17.1	2.5	0.0
全体	7.7	4.9	14.1	17.0	12.7	27.0	14.5	1.8	0.3

個人貸し出し冊数は、平成23年3月の図書館システム統合に伴うインターネット予約の4館への導入により、平成23年12月末までで、ほぼ同程度の貸出冊数となっており、リクエスト数も、既に平成22年度末の1.5倍に達しています。

また、平成23年度からは、4館共通利用券としたことに伴い、貸出冊数の上限を4館分合わせて1人20冊までとしたことも影響していると思われます。

なお、平成26年4月から、個人への貸出冊数の制限は、無くしております。

利用者数・貸出冊数・予約件数 (平成23年12月末現在)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度(12月末)
利用者数	164,576	140,961	117,540
貸出冊数	548,913	569,945	546,507
予約件数	16,682	18,096	27,429

利用者数は、平成27年度から平成29年度の間で1.24倍に増えていますが、貸出冊数は若干減っており、予約件数についてはほぼ横ばいの状況にあります。

利用者数・貸出冊数・予約件数 (平成30年3月末現在)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数	202,121	203,410	250,698
貸出冊数	848,835	818,670	827,824
予約件数	68,271	68,397	73,005

【課題】

■ 図書館利用の拡大に向けた取り組みの必要性

図書館利用の拡大に向け、利用者ニーズの把握に努めるとともに、図書館ホームページや図書館だより、広報くき、地域情報誌などを活用し、あらゆる機会を通して、図書館サービスの一層のPRを行うことが必要です。

■ 年齢層に応じた図書館サービスの展開

市民のライフステージやニーズに応える図書館事業の実施が必要です。

(3) レファレンスサービス

【現 状】

レファレンスサービスは、利用者の相談に応じて、必要とする資料や情報を提供し、学習や調査・研究の支援を行うサービスで、利用者と資料を結びつける図書館の重要な業務です。

平成23年2月のアンケート結果によると、必要とする資料や情報について職員に相談したことが「ある」と答えた人は51.2%、「ない」と答えた人は48.8%とほぼ同数となりました。

平成28年5月のアンケート結果によると、必要とする資料や情報について職員に相談したことが「ある」と答えた人は49.5%、「ない」と答えた人は50.5%であり、平成23年2月のアンケート結果とほぼ同じ割合でした。

【課 題】

■ 専門職員の育成

市民の幅広い学習や調査・研究ニーズの高まりに的確に答えるためには、多角的な視野からのさまざまな知識や情報が必要となります。このため、図書館サービスを担う司書等専門職員の育成が必要となります。

■ レファレンスツールの充実

利用者の求めに応じて、必要な資料や情報を提供するためには、参考図書のほか、利用者がインターネット等により情報を直接取得できる環境整備も充実が求められています。

(4) 児童・青少年サービス

【現 状】

中央図書館では平成18年8月から、他の3図書館では合併後の平成22年8月から乳児を持つ保護者を対象にブックスタート事業を開始しています。乳幼児を対象とした、おはなし会、えほんの会、わらべうたの会等を各図書館で開催しています。

小・中学校との連携では、学校団体貸出や小学生を対象とした一日図書館員事業の実施や中学生社会科チャレンジ体験事業の受け入れを行っています。

また、学校図書館ボランティアの養成講座を開催するとともに、学校訪問おはなし会やブックトークを久喜地区の全小学校で実施するなど、学校及び

学校図書館への支援を行っています。

さらに、青少年（中・高校生）に対するサービスとして、ヤングアダルト（YA）コーナーを設け、その年齢に配慮した読み物や、社会参加への準備に必要な資料を提供しています。

子どもの読書活動の推進にかかる具体的な施策については、平成23年3月に「久喜市子ども読書活動推進計画」を策定し、関係課と連携を図りながら推進しております。

【課題】

■ 家庭教育支援事業への協力

子どもたちの読書活動を支援するには、保護者に対して子どもたちへの読み聞かせや、読書の習慣の大切さを理解させるよう啓発に努めることが重要です。

■ 子ども読書活動の推進

久喜市子ども読書活動推進計画に沿った事業を実施するためには関係課をはじめ、家庭、学校、地域との連携が必要です。

■ 学校訪問おはなし会・ブックトーク事業の拡大

市内全域の小中学校における事業の実施が望まれます。
事業の実施にあたっては、学校・地域との連携が必要です。

(5) 障がい者サービス

【現状】

障がい者向けのサービスでは、録音図書や字幕DVD、点字図書を収集しています。

また、図書館に来館することが困難な人や通常の印刷物での読書が困難な方へのサービスとして、図書郵送貸し出しサービス、録音資料貸し出しサービスを行っています。

資料数

(平成23年3月31日現在)

	中央	菖蒲	栗橋	鷺宮	合計
点字資料(冊)	303	14	5	63	385
録音テープ(巻)	510	0	0	0	510
さわる絵本、布絵本	3	0	0	0	3

資料数

(平成30年3月31日現在)

	中央	菖蒲	栗橋	鷺宮	合計
点字資料(冊)	325	25	51	0	401
録音テープ(巻)	530	4	0	0	534
さわる絵本、布絵本	0	0	0	0	0

【課題】

■ 障がい者のニーズに応じた資料の収集や提供方法の検討

障がい者のニーズに応じたサービスを提供するため、点字資料やDAISY図書の収集を含めた資料の充実と提供方法の検討、利用者へのPRが重要となります。

(6) 高齢者サービス

【現状】

本市の人口に占める65歳以上の高齢者の割合は、20.8%（平成22年10月1日国勢調査人口）となっており、平成17年の国勢調査時より4.4ポイント増加しています。今後は、図書館利用登録者に占める60歳上の割合が、年々増加すると思われます。利用者のアンケートから図書館の利用状況を見ると、60歳代の利用者の割合が他の年齢層より多いところです。

図書館では、高齢者向けに、大活字本や録音資料の資料収集を行っていますが、4図書館の蔵書数全体に占める大活字本の割合は、平成23年3月が0.6%程度、平成30年3月が0.5%程度となっています。

資料数

(平成23年3月31日現在)

	中央	菖蒲	栗橋	鷺宮	合計
大活字本(冊)	1,105	685	31	681	2,502
録音テープ(巻)	510	0	0	0	510

資料数

(平成30年3月31日現在)

	中央	菖蒲	栗橋	鷺宮	合計
大活字本(冊)	651	606	70	847	2,174
録音テープ(巻)	530	4	0	0	534

【課題】

■ 高齢者が利用しやすいサービスの提供

高齢者の増加が見込まれる中、ニーズに合った資料収集や提供方法の工夫など、利用しやすいサービスの提供が求められます。また、館内施設、設備への配慮も必要です。

さらに、高齢者の社会参加を支援するための情報や余暇活動を支援する情報などを提供する役割が求められています。

(7) 視聴覚サービス

【現状】

図書館では、視聴覚資料を収集し、館内での視聴や、貸出サービスを行っています。利用状況は、CDは、横ばいで、DVDについては、年々増加する傾向にあります。

平成23年2月に行った利用者アンケートの結果では、充実する必要がある資料としては、3番目に高い16.4%となっています。特に、中央図書館や鷺宮図書館では、ポイントが高く、2番目となっています。

資料数

(平成23年3月31日現在)

	CD	ビデオテープ	DVD	LD	16ミリフィルム	計
中央	5,613	0	622	774	0	7,009
菖蒲	155	440	306	0	0	901
栗橋	0	0	0	0	0	0
鷺宮	2,136	2,408	313	67	176	5,100
計	7,904	2,848	1,241	841	176	13,010

貸出数

(平成23年3月31日現在)

	CD	ビデオテープ	DVD	LD	計
中央	26,904	0	5,564	1,030	33,498
菖蒲	389	939	822	0	2,150
栗橋	0	0	0	0	0
鷺宮	7,849	6,567	3,547	914	18,877
計	35,142	7,506	9,933	1,944	54,525

平成28年5月に行った利用者アンケートの結果では、充実する必要がある資料としては、CDが11.4%と、DVDが10.1%になっており、視聴覚に対する充実の要望は高い状態です。

資料数 (平成30年3月31日現在)

	CD	ビデオテープ	DVD	LD	16ミリフィルム	計
中央	6,182	0	1,176	720	0	8,078
菖蒲	293	395	513	12	0	1,213
栗橋	7	0	15	0	0	22
鷺宮	2,174	18	774	0	0	2,966
計	8,656	413	2,478	732	0	12,279

貸出数 (平成30年3月31日現在)

	CD	ビデオテープ	DVD	LD	計
中央	22,989	0	10,914	0	33,903
菖蒲	1,391	364	2,676	0	4,431
栗橋	214	0	0	0	214
鷺宮	6,550	0	7,669	0	14,219
計	31,144	364	21,259	0	52,767

【課題】

■ 市民ニーズに対応した視聴覚資料の収集・保存・提供

技術革新により媒体がアナログからデジタルへと著しく変化する中で、市民ニーズにあった視聴覚媒体（CD、DVD）の資料収集や提供体制が求められています。

(8) 学習活動の支援

【現状】

図書館では、市民の調査・研究、読書活動の支援や、図書館利用の促進を目的として各種講座やイベントを実施しています。図書館講座として、学校図書館ボランティアの養成や、朗読講習会の開催等を行っており、受講者には、活動・実践していただいています。

利用者へのアンケート結果によりますと、講演会や講座の開催についての

要望は、菖蒲図書館が一番多く、14.3%の方が望んでいます。

【課題】

■ 生涯学習の機会、発表の場の提供

市民の学習活動への支援として、講演会や各種講座を開催したり、市民が読書活動などを通して学んだ成果を発表する場の提供や学習の成果を活かす仕組みづくりが求められています。

5 図書館を取り巻く状況と課題

(1) 職員体制

図書館には、児童サービス、レファレンスサービス、障がい者サービス、選書等、より専門的なサービスの提供が求められています。特に、資料を体系的に選択し組織化すること（選書能力）や、利用者からの相談に的確に対応すること（レファレンス能力）などは、専門性が高く、専門的教育や研修を受けた上で現場経験を積むことにより可能となります。市民の高度かつ多様なニーズに対応していくためには、有資格者や経験の豊富な職員の計画的な配置について検討する必要があります。

(2) 図書館サービス拠点の整備

現在、中央図書館を含め4館の図書館が市内にありますが、市内には図書館の空白地域が存在しています。今後は、東公民館、西公民館、及び森下公民館図書室との協力体制を含めて連携の強化を図り、市内均等なサービスの提供に向けて、公共施設内への図書室の新設や公民館図書室の新設などについても検討する必要があります。

さらに、図書館サービスの一層の向上を目指して、図書館施設及び設備の整備を進める必要があります。

(3) 学校図書館との連携

子どもたちの主体的、意欲的な学習活動や読書活動を推進するため、市内の学校と連携して、学校図書館の充実を図るとともに、教職員への教育活動支援

を行うなど市立図書館からの更なる支援が求められています。

(4) 県立図書館及び県内公共図書館との連携

市内には県立久喜図書館が立地していることから、多くの方々が県立図書館を利用しており、県立図書館に久喜市の図書館サービスの一端を担っていただいているのが現状です。今後はさらに県立図書館との連携を図るとともに、県内公共図書館との相互協力体制によって、市民の多様な学習欲求に応え、効果的な図書館活動ができるようサービスの充実を図ることが求められています。

(5) ボランティアとの連携

今後の図書館運営を考えるときに、市民参加とボランティアとの連携という視点は欠くことができません。現在、図書館によっては、おはなし会等を実施するにあたっては、ボランティアが中心となっているところもあり、図書館運営におけるボランティアの位置づけを明確にし、今後もボランティアとの連携を図っていく必要があります。

(6) 運営体制

久喜市立図書館条例では、4図書館は並列に位置づけられていますが、中央図書館は他の3館との連絡調整の役割を担っており、図書館法第14条の図書館協議会は、中央図書館に置かれています。今後は、各図書館の役割を明確化し、総合的かつ効率的な図書館運営を行う必要があります。

また、公民館図書室については、貸出・返却業務のみ公民館職員が対応していますが、図書館は、現在、直営で運営しています。

図書館は、職員の専門性の蓄積や所蔵資料の継続的なコレクション形成などが重要視され、一貫した方針の下で継続して運営することが望ましいといわれていますが、平成31年4月からは、図書館サービスの向上を図る視点から、指定管理者制度を導入するとともに、図書館協議会を廃止し、教育委員会の諮問機関として図書館運営審議会を新たに設置します。

(7) 高度情報化への対応の充実

現在、中央図書館と他の3館において電話回線を利用したオンラインサービスが構築されており、インターネットや携帯電話からの検索と予約などが可能

となっています。今後は、高度情報化社会の進展とともにこれらのサービスの更なる普及・促進を図る必要があります。

現在、国・県レベルの総合目録データベースや横断検索システムを活用し、情報の提供を行っておりますが、さらに、レファレンスサービスや課題解決支援機能の充実を図るためには、法令集や雑誌・新聞記事の検索などの商用データベースの導入やホームページの内容の充実が急務となっています。

また、近年普及がめざましい電子図書については、媒体利用権や著作権など、その扱いについて十分に検討していく必要があります。

本市の地域資料については、公文書館や郷土資料館にも保存されていますが、それらのデータベース化を促進し、市民への情報提供を検討していく必要があります。

Ⅲ 基本的な考え方

1 基本理念

久喜市の教育方針「心豊かな人材を育み、郷土の歴史文化を大切にするまち」のもとに掲げられた重点政策「豊かな生き方を築く生涯学習の推進」を受け、この計画では、図書館の使命を、市民にとって必要な生涯学習情報を提供する拠点施設として、基本理念を次のとおりとします。

市民の暮らしに役立つ、市民に身近な図書館

2 基本目標

上記基本理念達成のために、以下の6つの基本目標を掲げます。

目標1 市民生活や地域を豊かにするための知識と情報を提供する図書館

市民が生活する上で必要なあらゆる情報を得たり、まちづくりに必要な情報を得ることで地域の課題を解決したりすることができるよう、図書館機能を強化します。

目標2 小・中学校と連携し、児童生徒の読書や学習を支援する図書館

小・中学校との連携機能の強化により、児童生徒が自ら本に親しめるような読書環境や学習環境を整備します。

目標3 高度情報化に対応した図書館

情報提供の高度化・迅速化に対応できるよう設備を充実し、電子情報を有効活用できる図書館を目指します。

目標4 ネットワークによる機能的なサービスを提供する図書館

市民のニーズに的確に対応し、利用の向上を図るため、全市的な視点から図書館と関連施設や関係機関・関係団体のネットワークによる機能的なサービス体制をつくります。

目標5 すべての市民にとって利用しやすい図書館

市民が図書館の利用に関してすべての人が等しく利用できるよう、また年齢等の属性に応じたサービスが受けることができるよう、さまざまな利用者にとって利用しやすい図書館を目指します。

目標6 効果的・効率的により良いサービスを提供する図書館

将来を見据えた人材確保や施設管理を含め、効果的・効率的な運営を行う体制を構築することにより、市民が必要とするより良いサービスの実現を目指します。

3 サービス計画の体系表

基本理念 市民の暮らしに役立つ、市民に身近な図書館

基本目標

施策

個別事業(*重点事業)

1 市民生活や地域を豊かにするための知識と情報を提供する図書館

1 レファレンスと課題解決型サービスの充実(重点施策)

- * 1 レファレンスサービスの強化
- * 2 ビジネス情報サービスの充実
- * 3 生活支援サービス(医療健康,子育て,教育,福祉等)の充実と拡充

2 小中学校と連携し、児童生徒の読書や学習を支援する図書館

2 小中学校図書館との連携機能強化と学校や教職員への支援(重点施策)

- 4 学校向け団体貸出の充実
- * 5 学校訪問おはなし会・ブックトーク事業の充実
- 6 学校教職員の教育活動支援の充実
- * 7 学校図書館への支援と連携の充実

3 高度情報化に対応した図書館

3 ICT(情報通信技術)を導入した高度な情報提供の推進(重点施策)

- * 8 インターネット利用環境の整備
- * 9 電子資料の積極的な導入

4 ネットワークによる機能的なサービスを提供する図書館

4 図書館・図書室間のネットワークや関連機関との連携体制の整備

- * 10 情報ネットワークを利用したサービスの充実
- 11 庁内各部課やその他の関連機関との連携協力

5 すべての市民にとって利用しやすい図書館

5 さまざまな利用者に対応したサービスの充実

- 12 年齢に応じた児童サービスの充実
- * 13 中高校生の読書活動を支援するサービスの充実
- 14 高齢者に配慮したサービスの充実
- 15 障がい者サービスの充実
- 16 外国人向けサービスの充
- 17 視聴覚サービスの充実

6 効果的・効率的に、より良いサービスを提供する図書館

6 市民ニーズに応じた効果的・効率的図書館運営

- 18 職員体制の整備と専門性の向上
- 19 管理運営体制の検討
- * 20 効率的な管理システムの構築
- * 21 施設の保全整備・快適でゆとりある読書空間の実現
- 22 市内全域サービスの実現とサービスの質的向上
- 23 計画的な蔵書管理
- 24 数値目標による自己評価

IV 具体的施策・事業

基本目標の実現に向け、取り組む施策を設定し、推進していきます。

基本目標1 市民生活や地域を豊かにするための知識と情報を提供する図書館

施策1 レファレンスと課題解決型サービスの充実

医療や健康、福祉、子育て、起業や就業など、市民の様々な疑問、調べものの課題解決に役立つ身近な情報拠点としてサービスを提供します。

達成度の指標

数値目標	平成 22 年度 アンケート結果	変更前の 目標値(H28)	平成 28 年度 アンケート結果	変更後の 目標値(H32)
レファレンスに対する 満足度	37.5%	47.5%	51.9%	53.0%以上

事業1：レファレンスサービスの強化

重点事業

	内 容
レファレンスにかかる職員体制の整備	・レファレンスに対応できる体制を整備します。
職員の専門能力の向上	・レファレンス研修会への参加により専門能力の向上を図るとともに、専門職員の養成に努めます。
地域資料・情報の収集と提供	・図書・雑誌・パンフレット・ちらし類など地域に関する資料を収集し、提供します。 ・久喜市の行政情報の収集に努めます。 ・久喜市ゆかりの人物や文学作品等を収集し、地域コレクションとして構築します。

事業2：ビジネス情報サービスの充実

重点事業

	内 容
サービスの充実	・ビジネスに役立つ資料(図書、雑誌、新聞、データベース等)の充実を図ります。 ・資格取得や就労を支援していくための情報提供を行います。

事業3：生活支援サービス(医療健康、子育て、教育、福祉等)の充実と拡充

重点事業

	内 容
医療健康情報の充実	・医療健康関係資料の更なる充実を図ります。
福祉情報の提供	・福祉に関連する情報を充実し提供します。
子育て・家庭教育情報の提供	・子育てや家庭教育に関する情報を充実し提供します。
関係機関との連携	・関係機関との連携を図り、情報収集や講座開催を行います。

基本目標2 小・中学校と連携し、児童生徒の読書や学習を支援する図書館

施策2 小・中学校図書館との連携機能強化と学校や教職員への支援

学校図書館と図書館とが連携し、学校において読書活動や学習に役立つ図書資料の提供や図書館のノウハウ等を生かし、児童生徒の読書活動及び学習支援を充実させます。

達成度の指標

数値目標	平成 22 年度実績	変更前の 目標値(H28)	平成 29 年度実績	変更後の 目標値(H32)
学校への団体 貸出冊数	445 冊	670 冊	916 冊	1,500 冊以上
学校訪問事業 実施学校数	11 校	20 校	15 校	23 校

事業4：学校向け団体貸出の充実

	内 容
団体貸出図書の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の各学年、クラスに対して朝の読書や学級文庫で使用する図書のまとめ貸出を強化します。 ・児童生徒の学習支援のため、学校カリキュラムとの連携を図り、教科のテーマにあった図書を充実します。

事業5：学校訪問おはなし会・ブックトーク事業の充実

重点事業

	内 容
学校訪問事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員や図書館ボランティアが学校訪問しておはなし会やブックトークについて市内全小中学校での実施に努めます。

事業6：学校教職員の教育活動支援の充実

	内 容
教職員支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教科書やカリキュラムに応じた適正な資料提供が行えるよう、教職員と図書館との連携を強化します。 ・教職員向けの教育関連図書を充実します。

事業7：学校図書館への支援と連携の充実

重点事業

	内 容
学校図書館研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館担当者や学校図書館ボランティアを対象に学校図書館における図書の管理、児童生徒向け図書の知識、読み聞かせやブックトークの講座を開催し、技術等の向上と人的育成に努めます。
学校図書館との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の読書傾向や学習内容を把握し、学校の要望に沿った資料の提供と整備を図っていきます。 ・学校図書館の図書資料情報のネットワーク化を支援します。 ・学校図書館の整備や運営に関する相談への助言を行います。

基本目標3 高度情報化に対応した図書館

施策3 ICT(情報通信技術)を導入した高度な情報提供の推進

最新の情報技術を導入し、利用者のニーズにあった設備を整えるとともに、電子資料とこれまでの図書や雑誌などの紙媒体資料を組み合わせたハイブリッドな情報提供を目指します。

達成度の指標

数値目標	平成 23 年度 実績	変更前の 目標値(H28)	平成 29 年度実績	変更後の 目標値(H32)
インターネット 閲覧可能パソコン数	0 台	8 台	0 台	8 台

事業8：インターネット利用環境の整備

重点事業

	内 容
インターネット閲覧 パソコン、配線等整 備	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで配信される有料データベースを閲覧するためのパソコンを設置し、利便性を向上させます。 ・持ち込みパソコンでインターネットを利用できる環境を整備します。

事業9：電子資料の積極的な導入

重点事業

	内 容
CD-ROM、We bデータベースの導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・データベース(インターネット経由やCD-ROM等)を積極的に導入します。 ・データベース利用普及のためのPRや利用講習を行います。

基本目標4 ネットワークによる機能的なサービスを提供する図書館

施策4 図書館・図書室間のネットワークや関連機関との連携体制の整備

市立図書館全館及び公民館図書室と生涯学習施設や県立図書館、大学図書館等との連携により市民一人ひとりのニーズにあった図書館サービスを提供します。

達成度の指標

数値目標	平成 22 年度実績	変更前の目標値(H28)	平成 29 年度実績	変更後の目標値(H32)
予約件数	18,086 件	21,700 件	73,005 件	73,500 件以上

事業10：情報ネットワークを利用したサービスの充実

重点事業

	内 容
ホームページの充実	・ホームページからデジタル資料やデータベース、調査研究サイトへのリンクなどの情報提供のあり方を検討し、ホームページの充実を図ります。
機能強化によるサービスの向上	・図書館システムによるメールでの連絡や督促等によるサービスの向上を図ります。

事業11：庁内各部課やその他の関連機関との連携協力

	内 容
庁内各部課との連携	・庁内各部課と連携して、庁内各部課が発行する資料を収集し、行政情報の収集に努めます
県立図書館及び県内公共図書館との相互協力	・県立図書館及び埼玉県内全域の公共図書館との相互協力体制により、資料の相互貸借を積極的に行い、利用者ニーズに応じていきます。
その他の機関との相互協力	・市内には、埼玉県農業技術研究センター久喜試験場のほか、市と連携協定を締結した平成国際大学（加須市）があり、各々が専門的な図書資料等の情報を保有しています。利用者からのレファレンスニーズに対して相互協力体制の可能性を模索します。
公民館等社会教育施設との連携協力	・公民館、郷土資料館等との連携を促進します。

市民参加の促進と連携協力	・ボランティア団体等に活動場所を提供していくとともに、行事の企画や運営などを通じて図書館との協力体制を築き活動の活性化を支援します。
--------------	--

基本目標5 すべての市民にとって利用しやすい図書館

施策5 さまざまな利用者に対応したサービスの充実

年齢に対応したサービスを充実するほか、利用に障がいのある方や、外国人などに対応したサービス、直接来館が困難な方に対するサービス提供の工夫などを通して、適切な図書館サービスを平等に活用できるようにします。

達成度の指標

数値目標	平成 22 年度 実績	変更前の 目標値(H28)	平成 29 年度実績	変更後の 目標値(H32)
人口一人当たりの貸出冊数	4.36 冊	5.00 冊	5.02 冊	5.43 冊以上
おはなし会参加者	3,022 人	3,300 人	4,208 人	4,300 人以上

事業 1 2 : 年齢に応じた児童サービスの充実

	内 容
ブックスタート事業の充実	・乳幼児 4 か月健診児を対象に行っている、ブックスタート事業を充実し、絵本を通じたコミュニケーションの重要性と家庭での読み聞かせの大切さを伝えていきます。
年齢別サービスの充実	・年齢に応じたおはなし会を実施します。 ・保育所・幼稚園及び子育て関連施設での訪問おはなし会を実施します。 ・おすすめ絵本リストなどの年齢別のブックリストを作成し配布します。 ・年齢に応じた児童向け事業を実施します。

事業 1 3 : 中・高校生の読書活動を支援するサービスの充実

重点事業

	内 容
中・高校生の読書活動を支援する図書の実践	・読書から遠ざかりがちな中・高校生へ向けてヤングアダルトコーナー（YA）の拡充をはかり、必要な図書の充実を図ります。
図書の紹介・情報提供	・読書へ興味を持つようにヤングアダルトコーナー（YA）やホームページから情報の発信を行います。

中・高等学校との連携	・中学生社会科チャレンジ体験事業や高校生のインターンシップ事業を積極的に受け入れ, 図書館や読書への興味を啓発していきます。
------------	--

事業14：高齢者に配慮したサービスの充実

	内 容
資料の充実や環境の整備	・高齢者向け大活字本や録音図書の収集・保存に努めます。 ・高齢者にわかりやすく手に取りやすい本の配置と環境の整備に努めます。
団体貸出の実施	・老人ホーム等施設に対する団体貸出により高齢者への図書サービスを提供します。

事業15：障がい者サービスの充実

	内 容
視覚障がい者サービス	・視覚障がい者の読書支援のため全国の図書館と連携し、点訳・音訳図書の相互貸借による資料提供を進めます。
郵送貸出の促進	・図書館への来館が困難な障がい者のために自宅への資料郵送貸出を行います。
団体貸出の実施	・障がい者施設に対する団体貸出により障がい者への図書サービスを提供します。

事業16：外国人向けサービスの充実

	内 容
外国語資料の充実	・外国人利用者に配慮し、社会のグローバル化・国際化に対応した外国語資料の収集・保存に努めます。 ・外国人の日本語学習を支援する資料の収集をします。

事業17：視聴覚サービスの充実

	内 容
資料の充実	・幅広い資料の収集を行います。
地域資料の充実	・地域に関する視聴覚資料を充実します。
コンサートや映画上映会の実施	・親子で楽しむコンサートや子ども映画会、名作映画会を実施します。

基本目標6 効果的・効率的により良いサービスを提供する図書館

施策6 市民ニーズに応じた効果的・効率的図書館運営

将来像を想定して図書館の運営方法を検討し実施していきます。施設設備の改善に努め、ゆとりと快適さを実現します。

達成度の指標

数値目標	平成 23 年度 実績	変更前の 目標値(H28)	平成 29 年度実績	変更後の 目標値(H32)
図書館職員に占める 司書の割合	52.6%	60.0%	47.1%	60.0%以上

事業 18：職員体制の整備と専門性の向上

	内 容
職員体制の整備	・ 司書有資格者や経験の豊富な職員の計画的な配置を整備します。
司書の資質の向上	・ スキルアップ研修への参加により専門性の高い職員の育成に努めます。 ・ 図書館サービス充実のために司書講習や実務研修への参加により能力の向上を図ります。

事業 19：管理運営体制の検討

	内 容
運営体制の検討	・ 図書館サービスの向上と図書館の効果的・効率的な運営を図る視点から、指定管理者制度を導入します。

事業 20：効率的な管理システムの構築

重点事業

	内 容
ICタグの活用	・ 図書資料に貼付したICタグを読み取らせる自動貸出・返却機を導入することにより、プライバシー保護の強化と貸し出し処理の迅速化を進めるため、費用対効果を検証し、導入を進めます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ I C タグ利用による蔵書点検の実施を行い、点検時間の短縮化を図ります。
--	--

事業 2 1 : 施設の保全整備・快適でゆとりある読書空間の実現

	内 容
施設・設備の改修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・設備の老朽化が進む中、快適な利用者サービスが提供できるよう計画的に改修工事等を行います。 ・ I C T 機器への対応力を高めます。

事業 2 2 : 市内全域サービスの実現とサービスの質的向上

重点事業

	内 容
図書館サービス拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の空白地域の解消に向けて、既存図書館と公民館図書室との連携の強化や新たな図書館の設置などを検討し、市内均等なサービスの提供に努めます。

事業 2 3 : 計画的な蔵書管理

	内 容
収蔵スペースの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館 4 館ともに、図書資料の収容能力を超えているため、収蔵スペースの確保に努めます。
図書館収集計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間貸出冊数、利用者数、登録者数、蔵書冊数等を考慮した図書館 4 館の分類別収集目標を設定します。 ・ 地域特性による資料分野のバランス、他の機関との連携の中で提供できる資料等を考慮しつつ最適な質・量の確保に努めます。

事業 2 4 : 数値目標による自己評価

	内 容
数値目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々のサービスについて数値目標を設定し、サービスの改善・充実に役立てます。
達成状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定した数値目標に対し、進行管理を行い、進捗状況を確認します。

V 重点施策

計画の基本目標の実現を目指し、今後推進していく6つの施策の中で、特に利用者からのニーズが高く、課題の解決に最も高い効果ができるものを「重点施策」と位置づけ、これらの施策に特に力点を置いて積極的に推進していきます。

○レファレンスと課題解決型サービスの充実

図書館が地域の情報拠点として機能するためには、図書館のレファレンス(調査相談)機能を強化するとともに課題解決型サービスの充実に努めます。

○小・中学校図書館との連携機能強化と学校や教職員への支援

図書館が学校及び学校図書館と連携を図ることにより、学校図書館が活性化し、子どもたちの読書力と学習力が向上するよう、学校及び学校図書館への支援を拡大強化します。

○ICT(情報通信技術)を導入した高度な情報提供の推進

インターネットに代表される情報通信技術(ICT)の著しい進展により、多くの市民が情報収集の重要な手段としてインターネットを利用している状況にあります。このICT化に対応する図書館として、施設設備や有料データベースやCD-ROM等を閲覧するための専用端末の設置など、ICT環境の整備に努めます。

資料 1

久喜市立図書館利用者アンケート結果（平成23年）

【調査の概要】

- 1 調査目的 図書館サービスに関する市民の意向をさまざまな角度から調査し、今後の本市図書館サービスの充実及び新「久喜市図書館サービス基本計画」の策定のための基礎資料とするため実施。
- 2 調査期間 平成23年2月5日（土）～2月22日（日）
（中央 2/8～2/12 菖蒲 2/17～2/22 栗橋 2/5～2/12 鷺宮 2/5～2/11）
- 3 調査対象 一般利用者（中学生以上）
- 4 調査方式 配票（入館時にアンケート用紙を配布、回収）
- 5 回収数 全館合計 1,043枚（詳細下表）

館名	中央	菖蒲	栗橋	鷺宮	合計
回収数	398	153	100	392	1,043
割合(%)	38.1	14.7	9.6	37.6	100.0

6 回答者の属性

《性別》 全体的に女性の利用者が多いようです。菖蒲図書館では女性の利用者が61.4%で最も多く、中央図書館、栗橋図書室では男性利用者が多い結果となりました。

	男性	女性
全体	497人 (47.7%)	546人 (52.3%)
中央	215人 (54.0%)	183人 (46.0%)
菖蒲	59人 (38.6%)	94人 (61.4%)
栗橋	51人 (51.0%)	49人 (49.0%)
鷺宮	172人 (43.9%)	220人 (56.1%)

《年齢》 全体的に60代の利用者が多く、特に鷺宮図書館では利用者の4分の1を占めています。中央館では30代から60代の利用者が多くなっています。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答
全体 (%)	86 (8.2)	78 (7.5)	183 (17.6)	164 (15.7)	183 (17.6)	240 (23.0)	89 (8.5)	13 (1.2)	7 (0.7)
中央 (%)	20 (5.0)	32 (8.0)	76 (19.1)	65 (16.3)	80 (20.1)	88 (22.1)	31 (7.8)	6 (1.5)	0 (0.0)
菖蒲 (%)	14 (9.2)	13 (8.5)	26 (17.0)	24 (15.7)	28 (18.3)	32 (20.9)	15 (9.8)	0 (0.0)	1 (0.6)
栗橋 (%)	1 (1.0)	11 (11.0)	19 (19.0)	19 (19.0)	18 (18.0)	22 (22.0)	10 (10.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
鷺宮 (%)	51 (13.0)	22 (5.6)	62 (15.8)	56 (14.3)	57 (14.6)	98 (25.0)	33 (8.4)	7 (1.8)	6 (1.5)

《住所》 それぞれの館の居住地域の利用者が各館とも約80%の利用者で占められています。中央図書館と鷺宮図書館での相互利用者が約7%となっています。菖蒲図書館では、市外の利用者が27.1%を占めています。

	旧久喜市	旧菖蒲町	旧栗橋町	旧鷺宮町	市外(*)	無回答
全体 (%)	358 (34.3)	103 (9.9)	91 (8.7)	344 (33.0)	133 (12.8)	14 (1.3)
中央 (%)	322 (80.9)	2 (0.5)	3 (0.8)	24 (6.0)	43 (10.8)	4 (1.0)

(*)…加須市 38 人、幸手市 28 人、蓮田市 6 人、白岡町 18 人、杉戸町 9 人、宮代町 8 人、その他 26 人

《職業》 中央図書館で最も多かったのは「会社員・公務員」で全体のおよそ3分の1になっています。地区館では「専業主婦」がおおよそ4人に1人と一番多くなっています。全体的に「学生」「専業主婦」「無職」等の未就業者で利用者の半数以上が占められています。

	会社員・公務員	自由業・自営業	パート・アルバイト	学生	専業主婦	無職	無回答
全体 (%)	287 (27.5)	44 (4.2)	141 (13.5)	110 (10.6)	249 (23.9)	210 (20.1)	2 (0.2)
中央 (%)	131 (32.9)	25 (6.3)	49 (12.3)	33 (8.3)	88 (22.1)	72 (18.1)	0 (0)

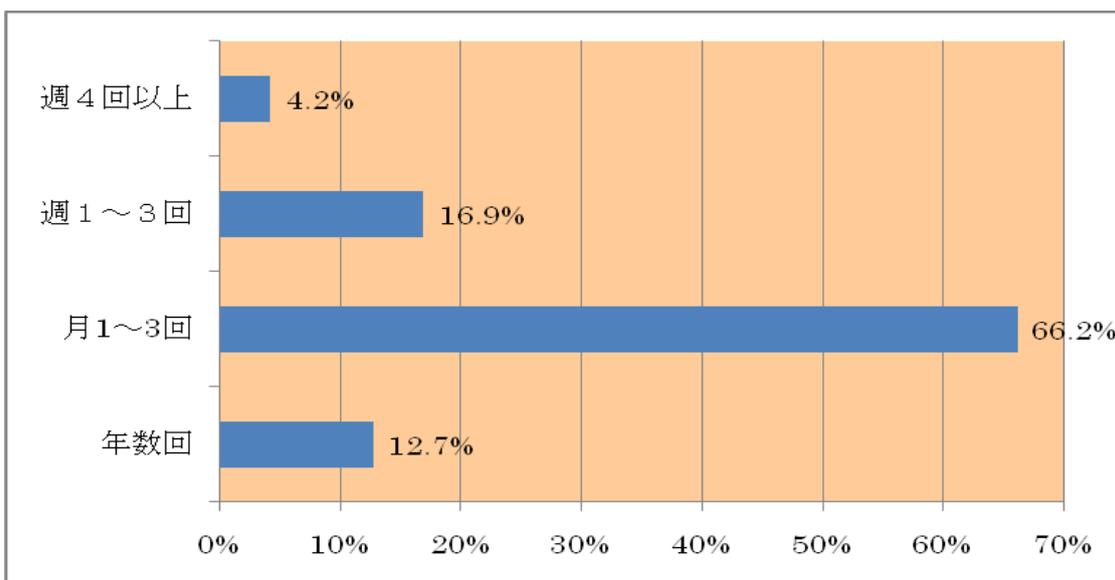
《ホームページ利用経験》 図書館ホームページは「よく利用する」と時々利用する」をあわせて約3分の1の人に利用されています。「利用しない」人も3分の2と多く、自宅にパソコンがないからの回答も目立ちました。

	よく利用する	時々利用する	利用しない	無回答
全体 (%)	137 (13.1)	205 (19.7)	673 (64.5)	28 (2.7)
中央 (%)	56 (14.1)	97 (24.4)	244 (61.3)	1 (0.2)

【調査の結果】

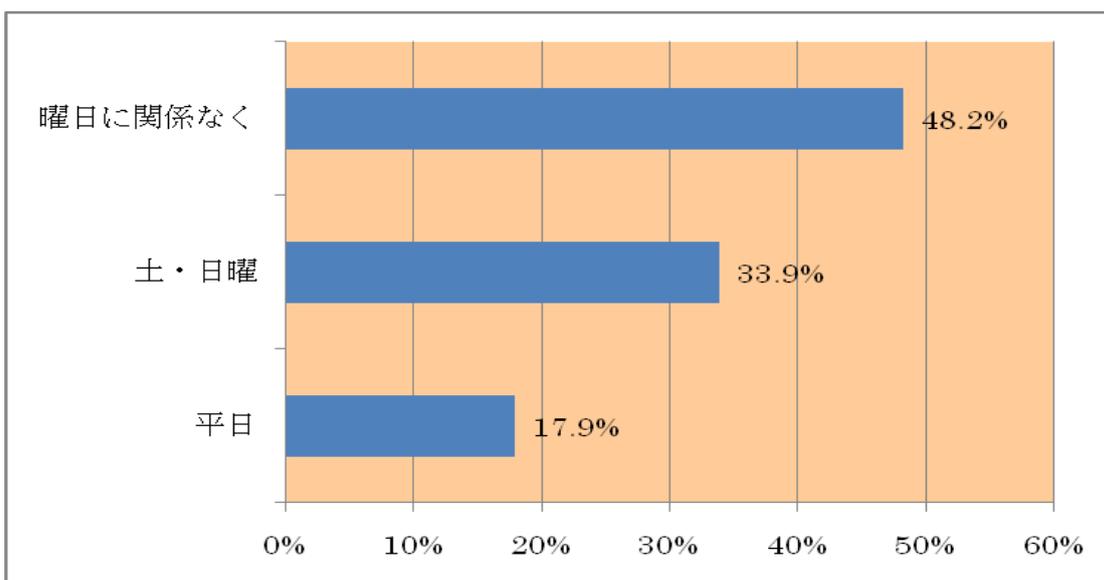
図書館利用回数は

《利用頻度》 最も多いのは、「月1～3回」の利用者が全体の3分の2を占めています。次いで多いのは、「週1～3回」の利用者で17.1%となっています。栗橋図書室では、「月1～3回」の利用者が74%と最も多くみられました。



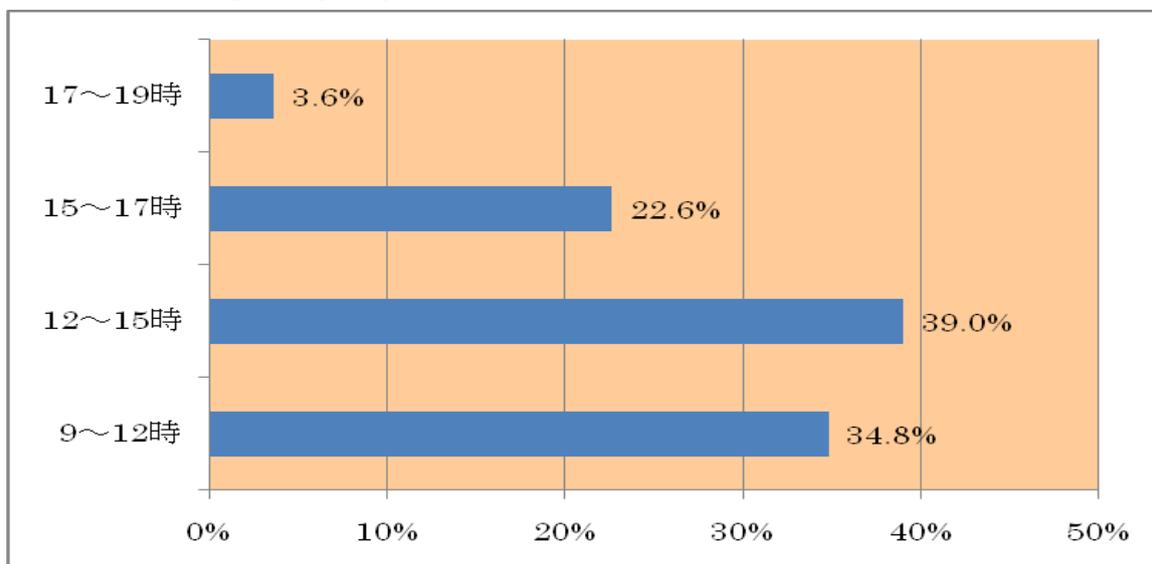
利用する曜日は

《曜日》 「曜日に関係なく」が最も多かったのは、中央、菖蒲、鷺宮の3館で、最も高かったのは中央館で54.6%でした。栗橋図書室では、「土・日曜」が最も多く46.3%でした。菖蒲図書館では、「平日」、「土・日曜」、「曜日に関係なく」ともに30%前後となっています。



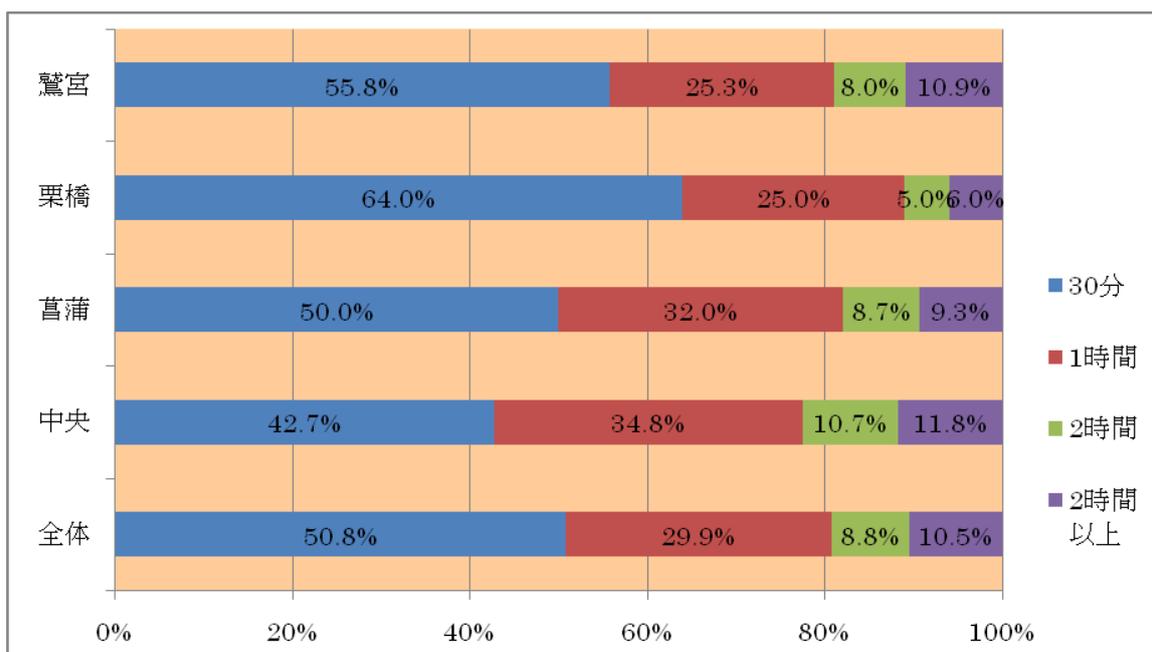
利用する時間帯は

《時間帯》 「12～15時」の時間帯が4館とも最も多い利用時間帯ですが、中央図書館では、36.1%で「9～12時」と2.3ポイント差でした。「17～19時」の利用者は、中央23人、あやめ3人、鷺宮17人と全体で、3.6%とかなり少ない利用です。



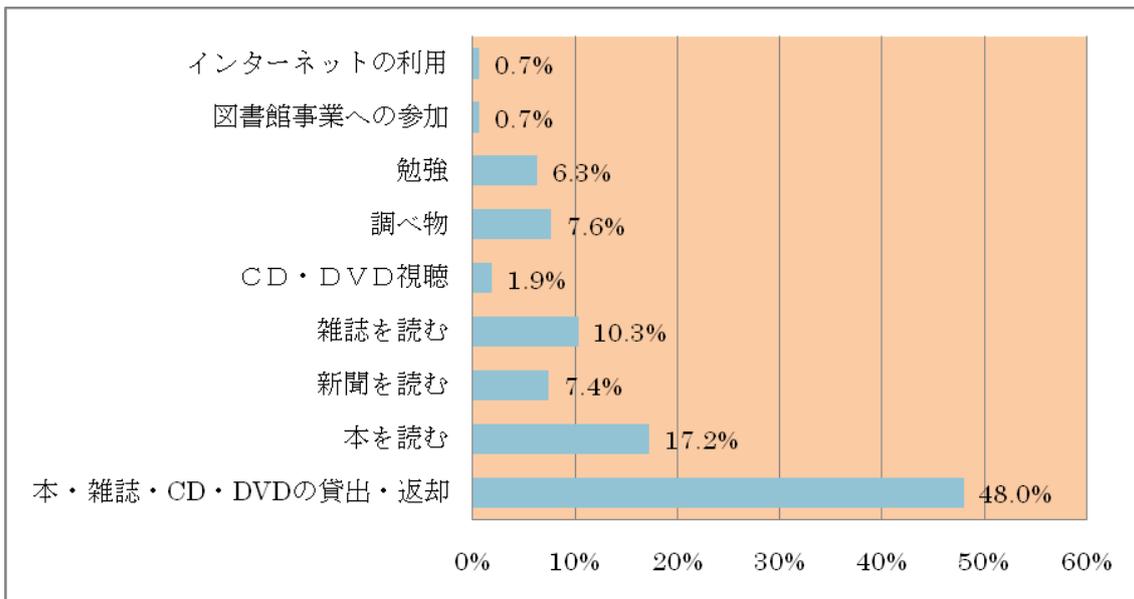
本日図書館の中にいた時間は

《滞在時間》 全体的には、「30分」が最も多かったようです。貸出・返却の利用と考えられます。なかでも栗橋図書室が64.0%で6割を占めました。滞在時間が最も長いのは中央館で、他館に比べて本や雑誌、新聞を読む目的で滞在している人の割合が多くなっています。



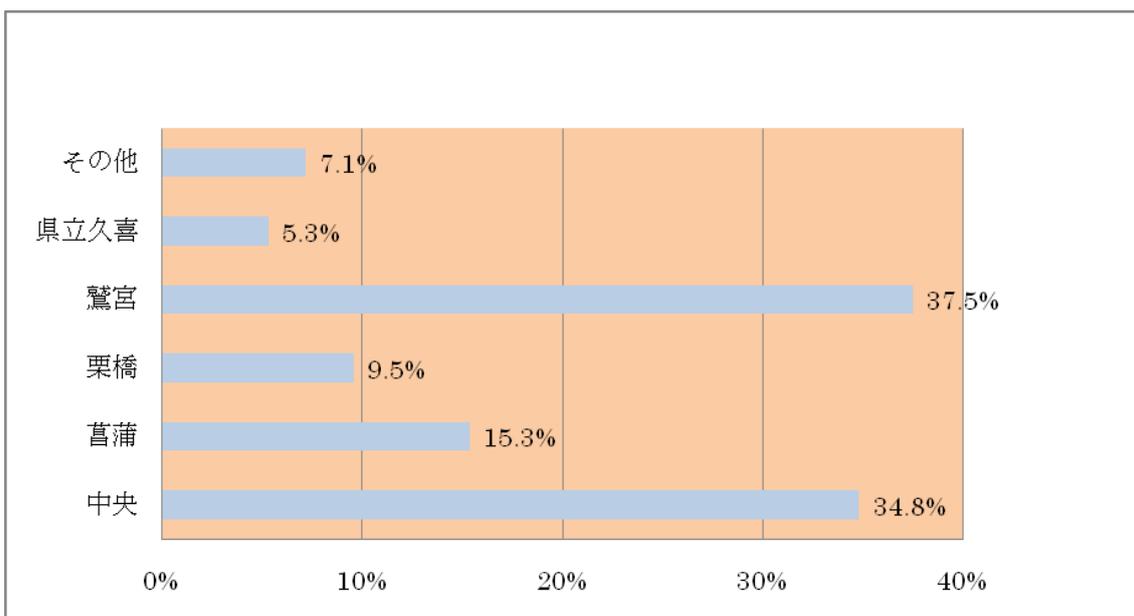
本日の図書館の利用目的は（複数回答可）

《利用目的》 最も多いのが「貸出・返却」のための来館者で半数近くを占めていることです。滞在時間30分が一番多いことから推測できます。次に、「本を読む」「雑誌を読む」と続きます。



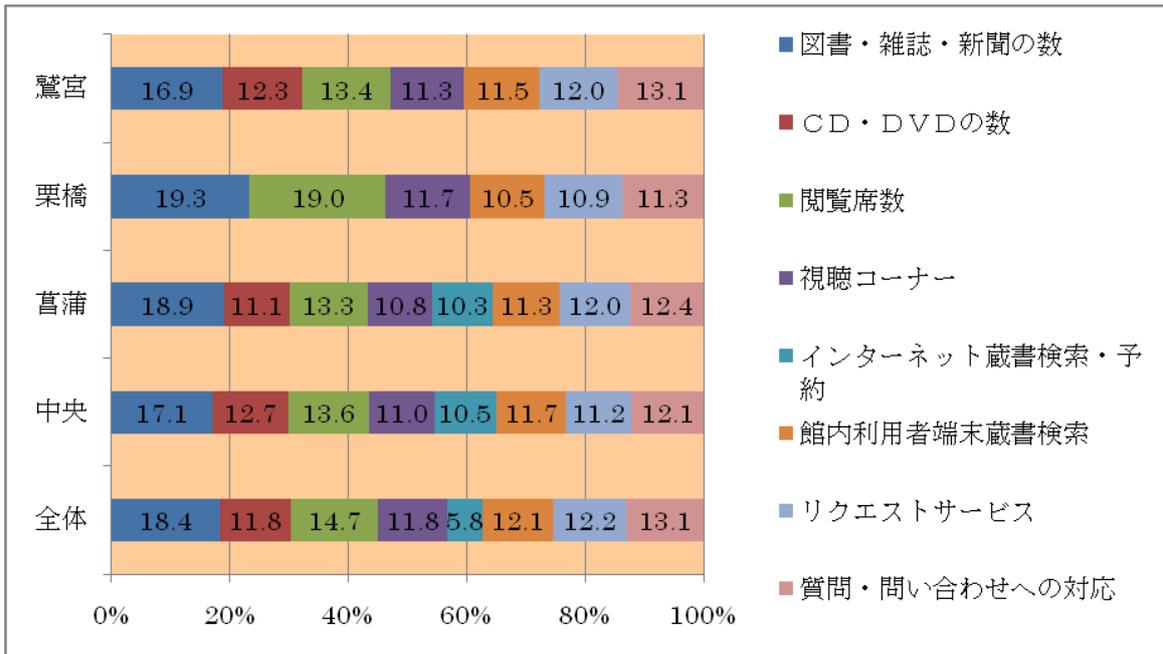
日ごろ利用する図書館は

《利用図書館》 中央図書館回答者は、「中央図書館」の次に利用の多いのが「県立久喜」、菖蒲、鷺宮では「中央図書館」が2番目に入っています。栗橋図書室の利用者は、6割近くが栗橋地区居住者です。

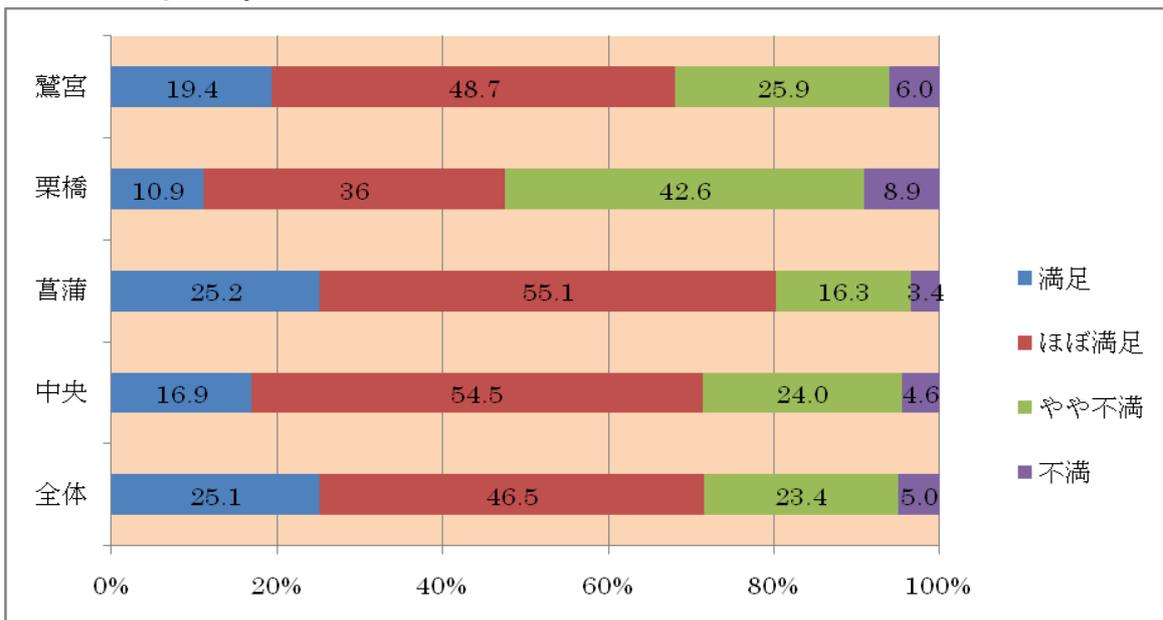


満足度について

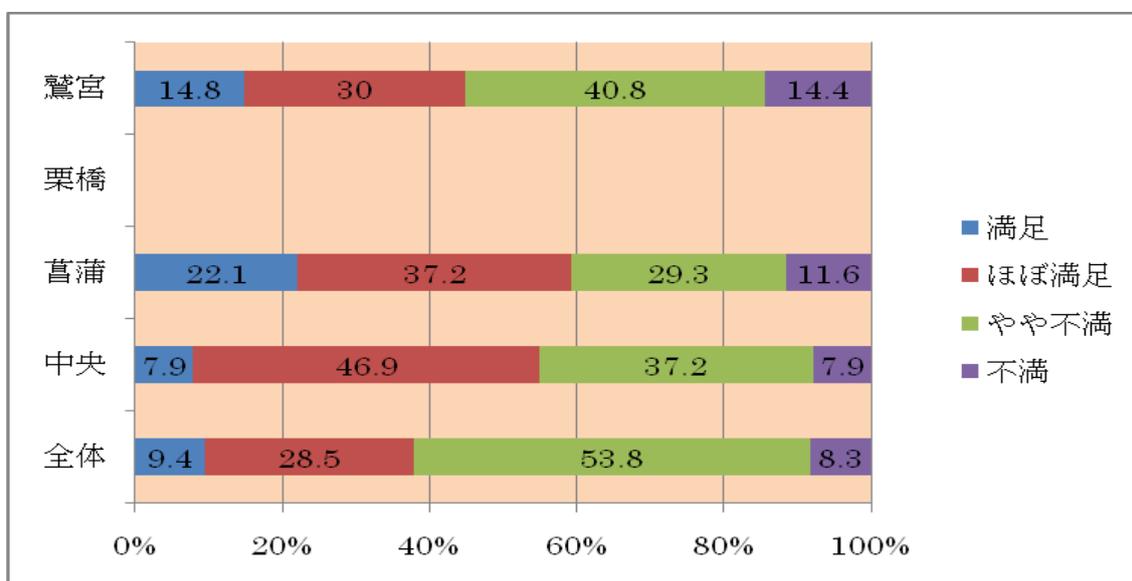
《満足度》 最も満足度が高かったのが「図書・雑誌・新聞数」の18.4%でした。他の項目については、10%前後の満足度となりました。栗橋図書室ではインターネット蔵書検索・予約と館内利用者端末蔵書検索ができないため、鷺宮図書館ではインターネット蔵書検索・予約ができないため調査の対象外となっています。



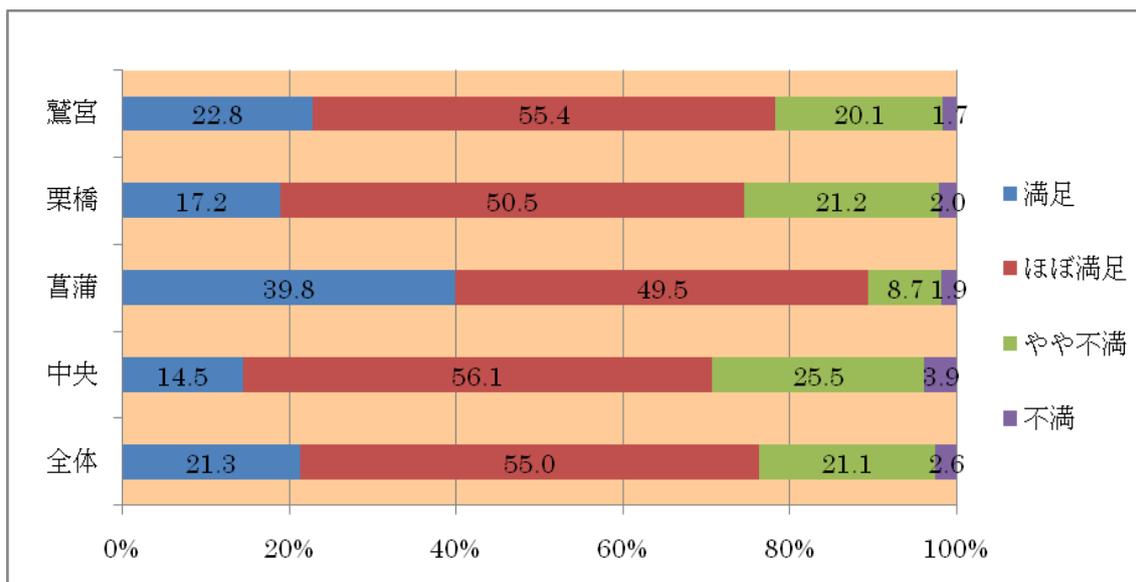
《図書・雑誌・新聞数》 全体では、「満足」「ほぼ満足」をあわせると71.6%となります。特に、栗橋図書室では、「やや不満」「不満」を合わせると51.5%となりました。



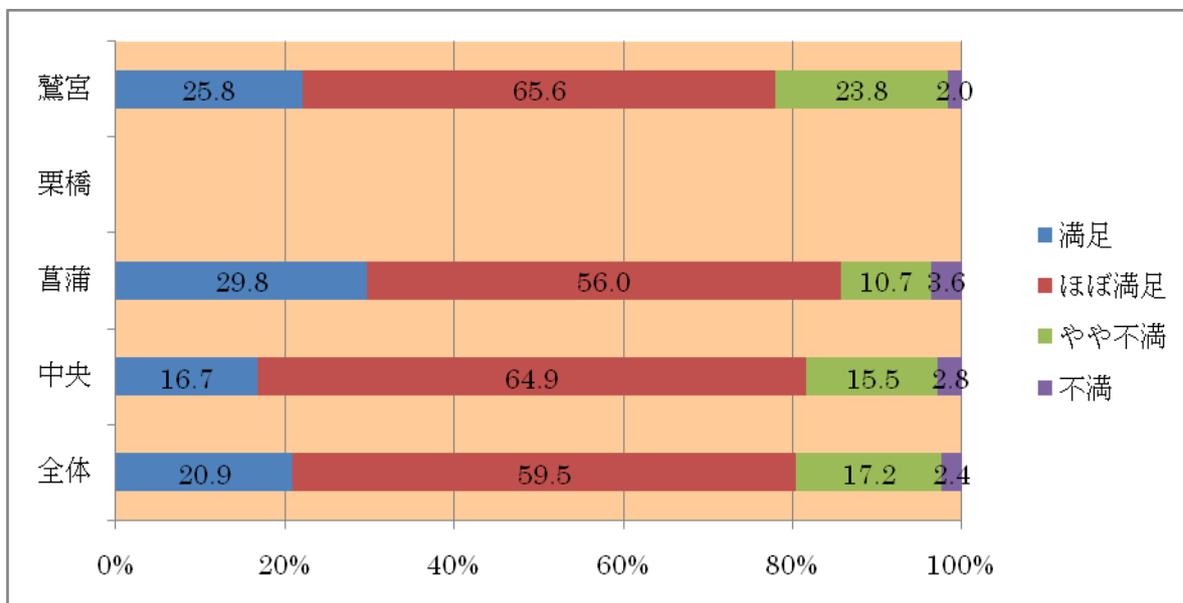
《CD・DVD数》 「満足」「ほぼ満足」をあわせて過半数を超えたのは中央図書館と菫蒲図書館です。栗橋図書室には、CD・DVDがないため、回答は対象外となっています。全体的には、満足度が低いといえます。



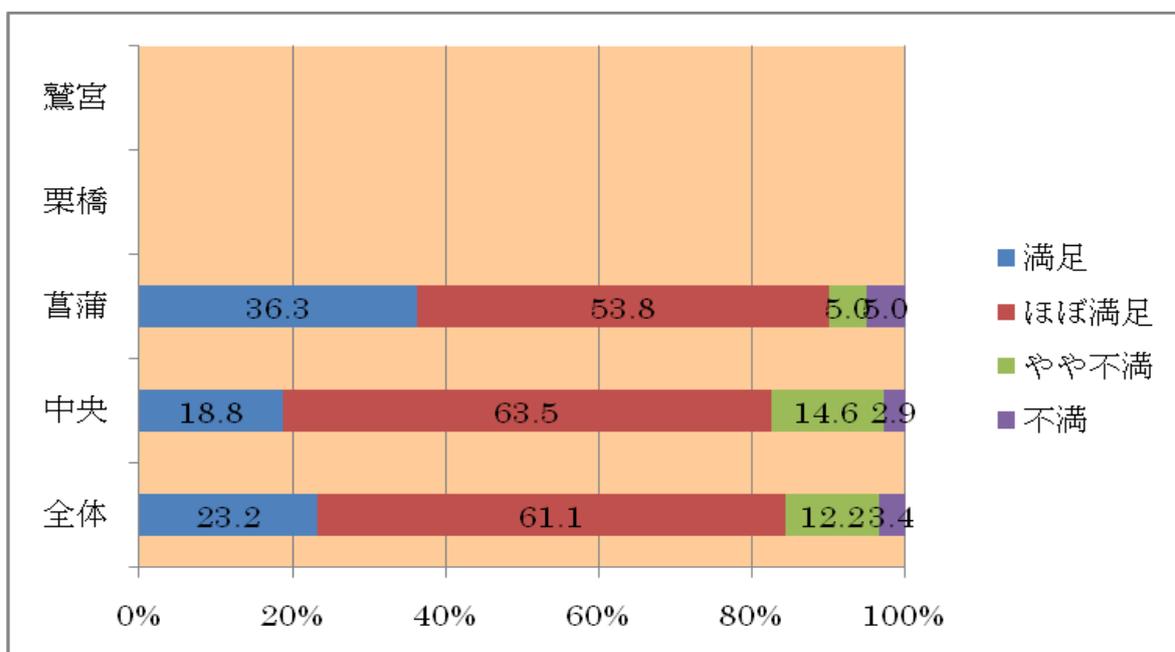
《閲覧席数》 全体的には約7割以上の方が「満足」「ほぼ満足」と感じています。菫蒲図書館では、閲覧席が120席を有するためか「満足」と感じている方が約4割、「ほぼ満足」と合わせると9割近くの方になります。中央図書館は利用者が最も多い割に閲覧席が少ないためか満足度も最も低くなっています。



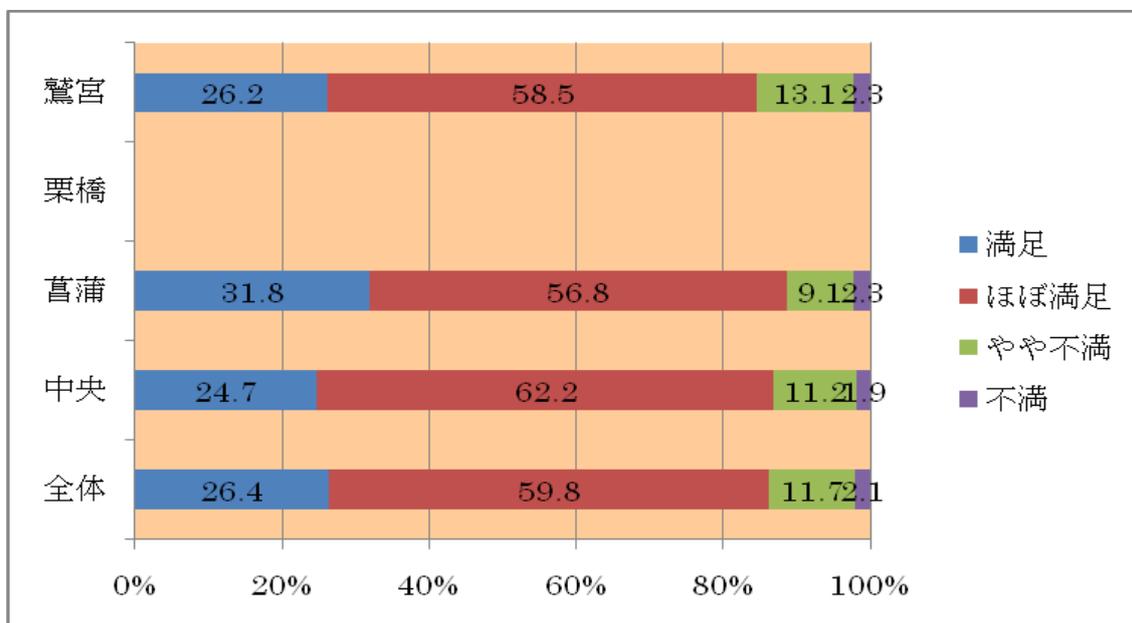
《視聴コーナー》 全体的に約8割以上の方が「満足」「ほぼ満足」と感じています。
 栗橋図書室には視聴コーナーがないため、調査の対象外となっています。



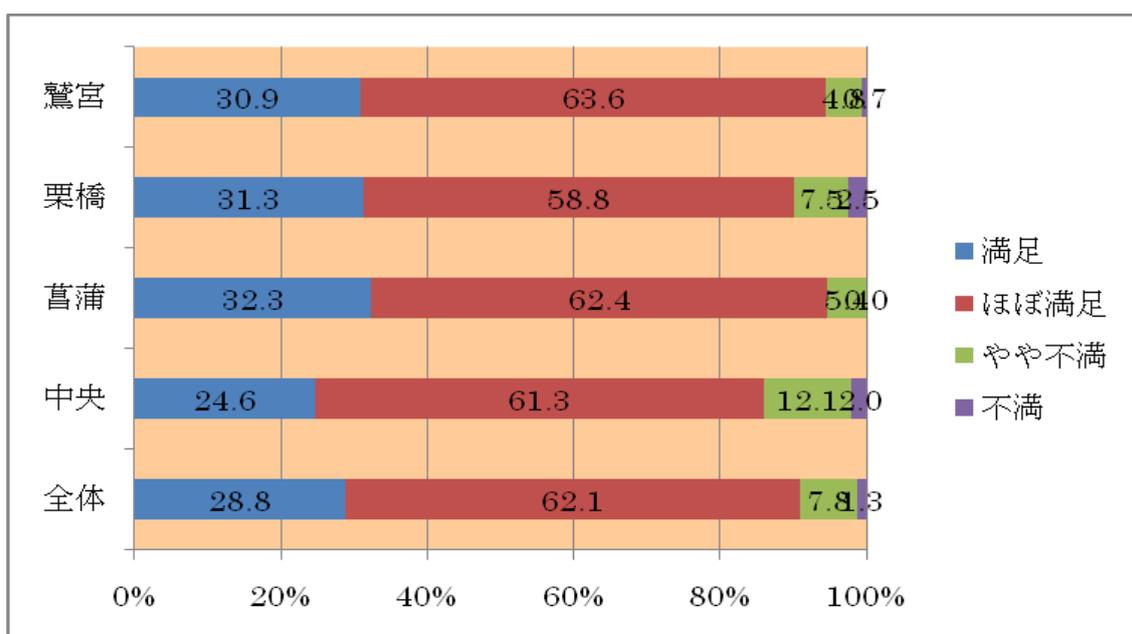
《インターネット蔵書検索・予約》 インターネット蔵書検索・予約ができるのは、中央図書館と菖蒲図書館のみでしたが、両館とも「不満」「やや不満」と感じている人は少ないようでした。



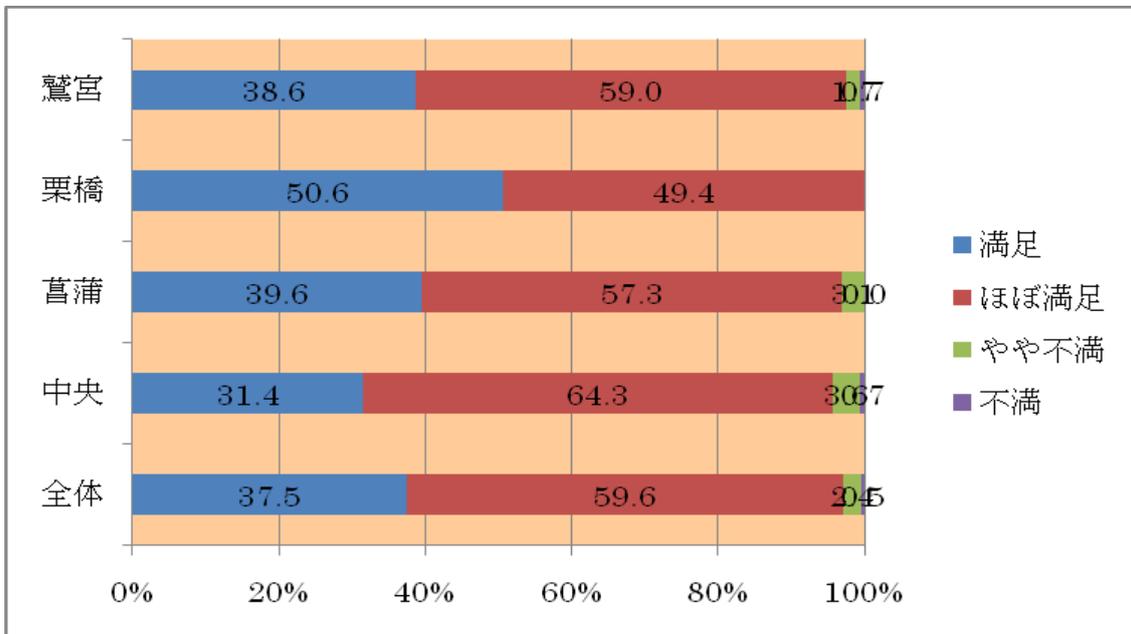
《利用者端末蔵書検索》 館内利用者端末機(OPAC)の使いやすさについては、「不満」「やや不満」と感じている人は少ないようでした。栗橋図書室は、H23.3.29 システム統合後に設置されました。



《リクエストサービス》 リクエストサービスの対応については、全体的に90%以上の利用者が「満足」「ほぼ満足」されているようです。蔵書数が少ない栗橋図書室についても、「満足」「ほぼ満足」と感じている利用者が大半です。

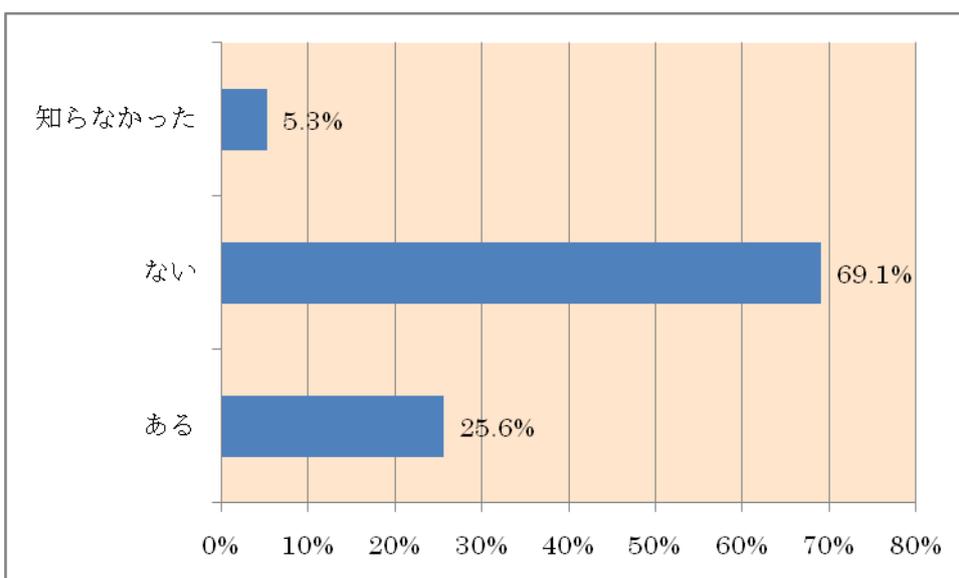


《質問問い合わせ対応》 質問や問い合わせに対する対応としては、9割以上の方が「満足」「ほぼ満足」と感じています。栗橋図書室では、「不満」や「やや不満」と感じている利用者はいないようです。



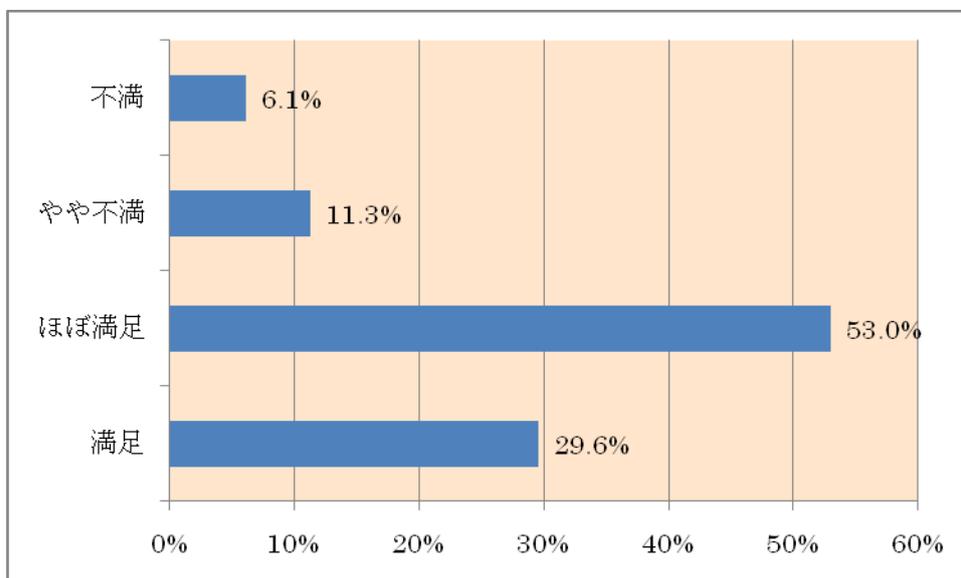
図書館事業（おはなし会・映画会・講座等）に参加したことがありますか

《図書館事業参加》 図書館事業に参加したことが「ない」が69%と大半を占めています。図書館事業が開催される回数が少ないことと、幼児や児童を対象者とするものが多いためか、一般の利用者が参加できる事業が少ないものと思われる。



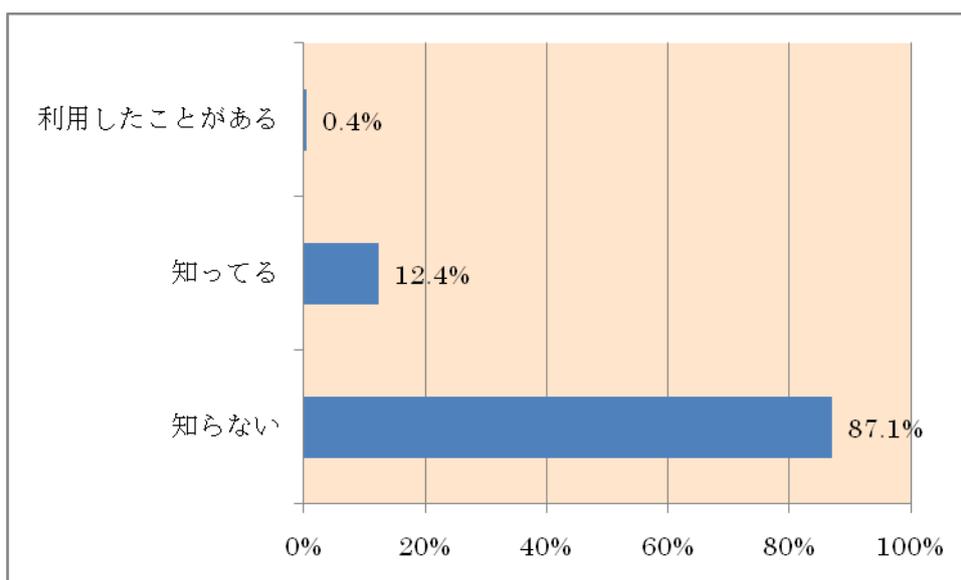
図書館事業に参加したことがある方にお聞きします

《事業参加者の満足度》 図書館事業の対象者は限られますが、参加したことがある方については概ね9割以上の方が「満足」「ほぼ満足」と感じているようです。



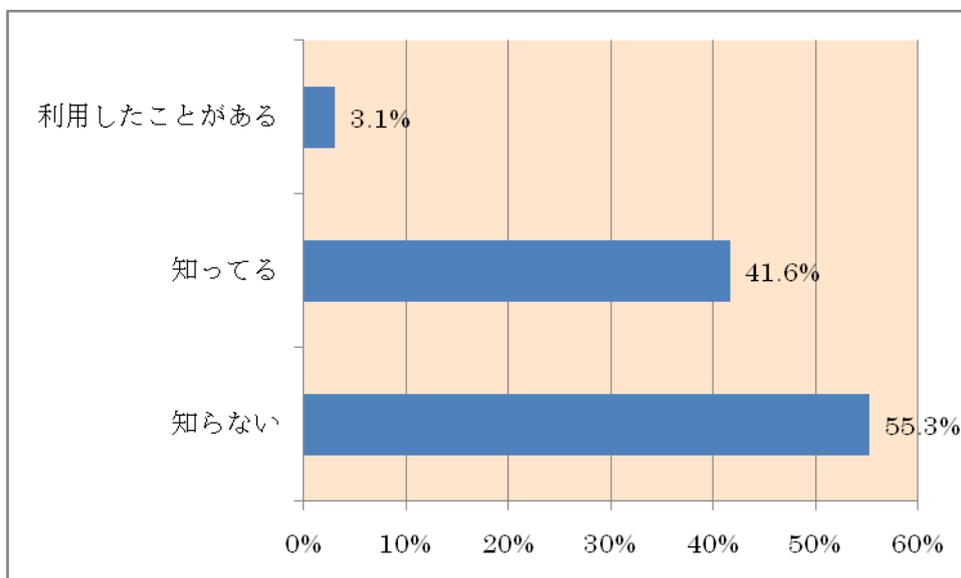
障がい者サービス（障がい者郵送貸出）について

《障がい者サービス》 「知らない」が9割近く、大半を占めました。「利用したことがある」も0.4%にとどまりました。



高齢者サービス（大活字本・老眼鏡の設置等）について

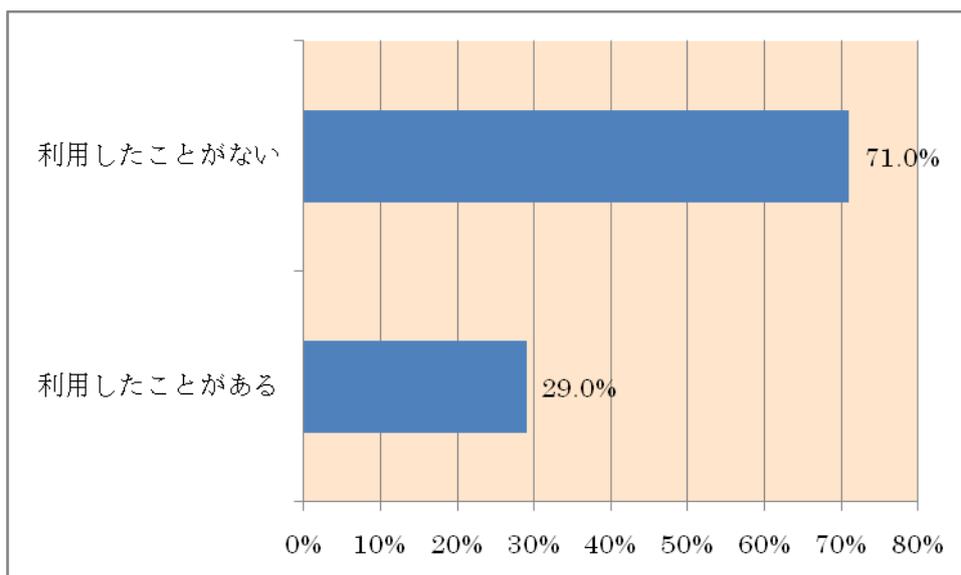
《高齢者サービス》 障がい者サービスに比べると「知っている」「利用したことがある」もポイントが上がりました。「知らない」が6割近くを占めています。



図書のリサイクルについて

《図書のリサイクル》 「利用したことがある」のは、約3割の人に限定されています。

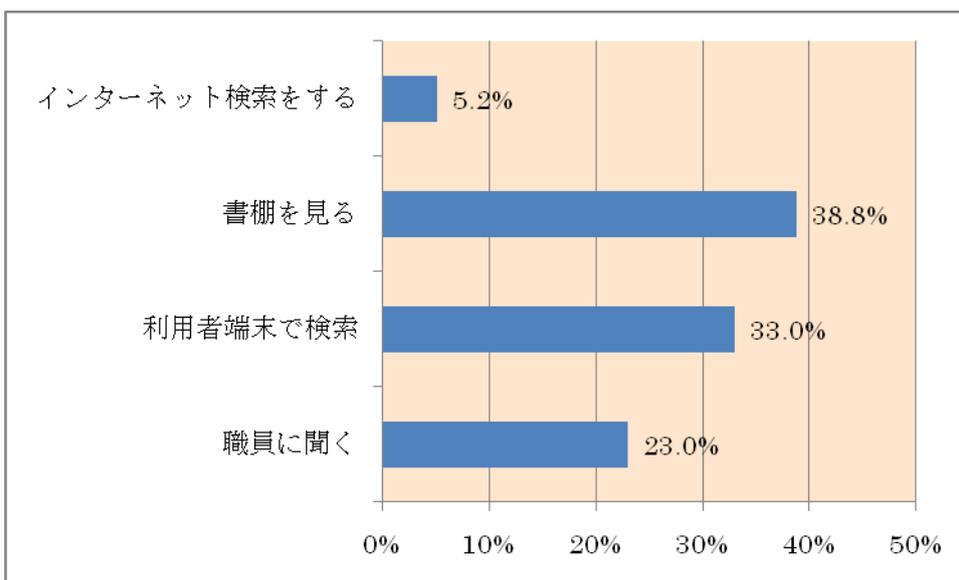
各館とも図書のリサイクルを実施しておりますが、年に1回の実施の館が多く、意外と知られていないかもしれません。



図書資料を探るときどうしますか

《図書資料を探るとき》 全体的には、「書棚を見る」が38.8%で最も多かったようです。「書棚を見る」が一番多かったのは、利用者端末が設置されていなかった栗橋図書室で54%、「利用者端末で検索」は鷲宮図書館が最も多く37.1%となりました。

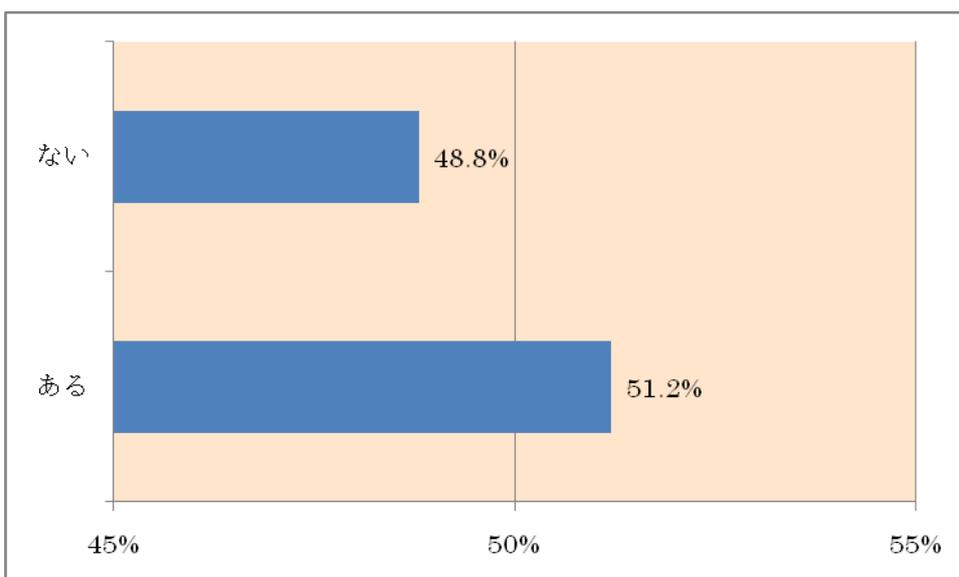
(栗橋図書室は、H23.3.29 システム統合後、利用者端末 (OPAC) 設置)



リクエストをしたり、調べ物について職員に相談したことがありますか

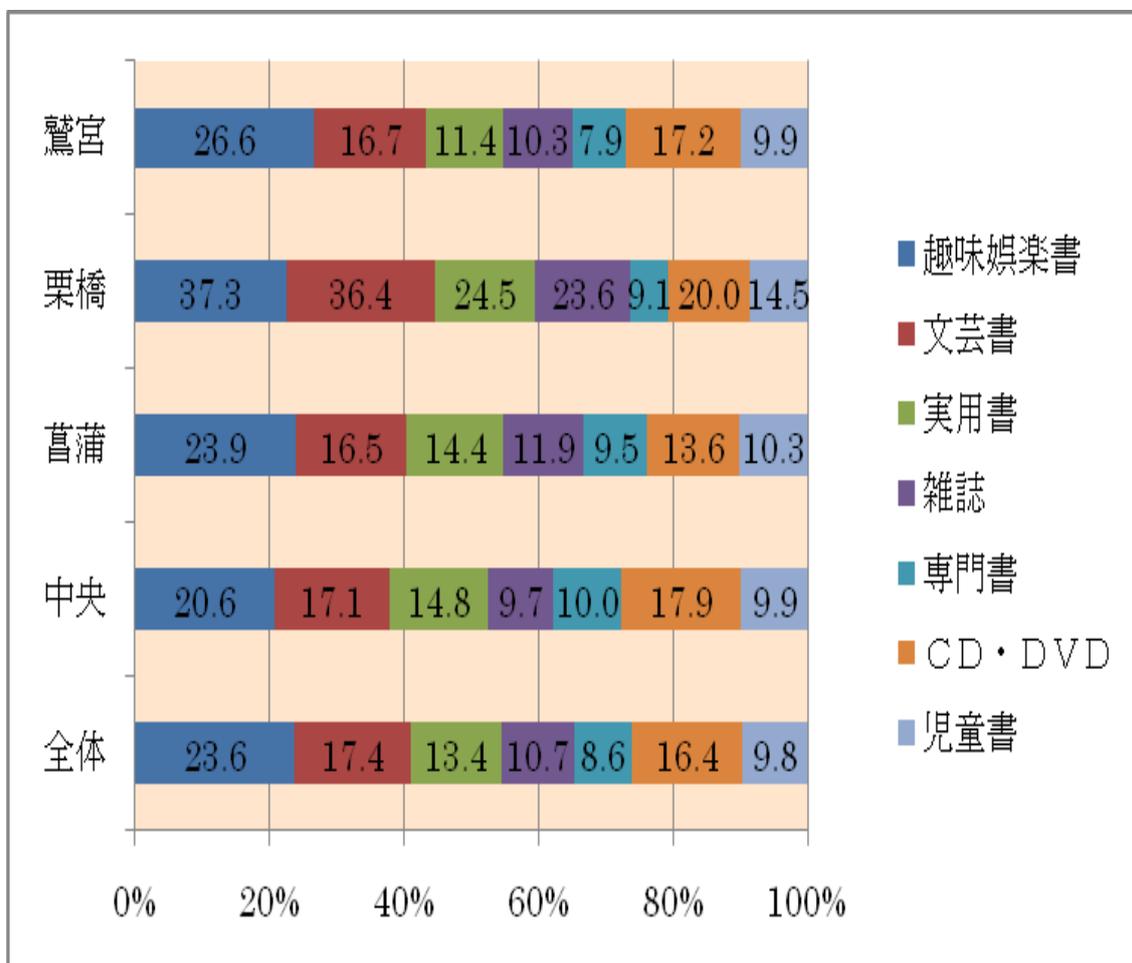
《リクエストや調べ物についての職員への相談》

「ある」51.2%、「ない」48.8%とほぼ同ポイントの結果が出ました。



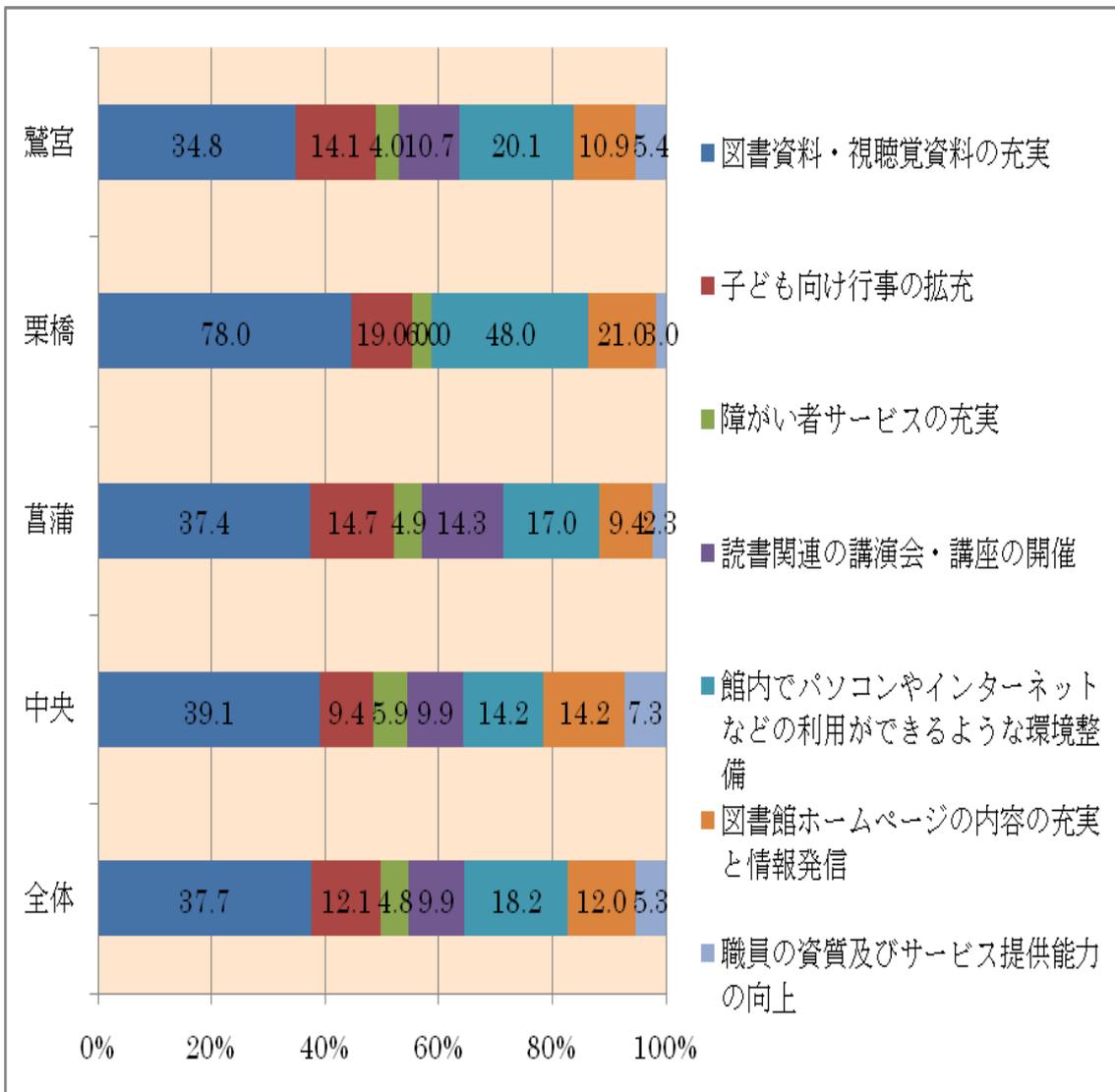
今後、充実する必要がある図書資料は

《充実する必要がある図書資料》 充実すべき資料は、「趣味・娯楽書」がトップで、「文芸書」「CD・DVD」「実用書」の順で充実させる資料との結果が出ました。



図書館への要望について3つまで○をつけてください。

《図書館への要望》 「図書資料・視聴覚資料の充実」「館内でパソコンやインターネットなどの利用ができるような環境整備」「子ども向け行事の拡充」の順で要望が大きくなっています。中央館においては、「館内でパソコンやインターネットなどの利用ができるような環境整備」と「図書館ホームページの内容の充実と情報発信」が同ポイントで次に多くなっています。「図書館ホームページの内容の充実と情報発信」の順位が高いのが中央館の特徴です。



資料 2

久喜市立図書館利用者アンケート結果（平成28年）

【調査の概要】

- 1 調査目的 図書館サービスに関する市民の意向をさまざまな角度から調査し、今後の本市図書館サービスの充実及び現行の「久喜市図書館サービス基本計画」の取り組みを検証するために実施。
- 2 調査期間 平成28年5月24日（火）～6月7日（火）
- 3 調査対象 一般利用者（中学生以上）
- 4 調査方式 配票（入館時や貸出・返却時等にアンケート用紙を配布、回収）
- 5 回収数 全館合計 1,152枚（詳細下表）

館名	中央	菖蒲	栗橋	鷺宮	合計
回収数	477	159	113	403	1,152
割合（％）	41.4%	13.8%	9.8%	35.0%	100%

6 回答者の属性

《性別》 前回のアンケート（平成22年度末実施）と変わらず全体的に女性の利用者が多い結果となりました。特に、鷺宮図書館が最も多く、7割近い割合でした。

	男性	女性	無回答
全体	469人（40.7%）	669人（58.1%）	14人（1.2%）
中央	213人（44.7%）	254人（53.2%）	10人（2.1%）
菖蒲	73人（45.9%）	85人（53.5%）	1人（0.6%）
栗橋	45人（39.8%）	68人（60.2%）	-
鷺宮	138人（34.2%）	262人（65.0%）	3人（0.7%）

《年齢》 前回のアンケート（平成22年度末実施）と同様に全体的に60代の利用者が多い結果となりました。60代以上の利用者を合計すると、鷺宮図書館は5割以上、中央図書館と菖蒲図書館が4割以上となりました。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	無回答
全体	89人	57人	162人	196人	146人	311人	167人	21人	3人
(%)	(7.7)	(4.9)	(14.1)	(17.0)	(12.7)	(27.0)	(14.5)	(1.8)	(0.3)
中央	50人	33人	62人	74人	65人	113人	71人	7人	2人
(%)	(10.5)	(6.9)	(13.0)	(15.5)	(13.6)	(23.7)	(14.9)	(1.5)	(0.4)
菖蒲	17人	8人	21人	26人	21人	50人	15人	1人	0人
(%)	(10.7)	(5.0)	(13.2)	(16.4)	(13.2)	(31.4)	(9.4)	(0.6)	(0.0)
栗橋	10人	6人	19人	24人	13人	25人	12人	3人	1人
(%)	(8.8)	(5.3)	(16.8)	(21.2)	(11.5)	(22.1)	(10.6)	(2.7)	(0.9)
鷺宮	12人	10人	60人	72人	47人	123人	69人	10人	0人
(%)	(3.0)	(2.5)	(14.9)	(17.9)	(11.7)	(30.5)	(17.1)	(2.5)	(0.0)

《住所》 居住地域の利用者が各館とも最も多数でした。居住地域に次いで多かった利用者は、中央図書館と菖蒲図書館については市外の利用者、栗橋図書室と鷺宮図書館については久喜地区の利用者でした。

	久喜地区	菖蒲地区	栗橋地区	鷺宮地区	市外	無回答
全体	497人	102人	82人	266人	119人	87人
(%)	(43.1)	(8.9)	(7.1)	(23.1)	(10.3)	(7.6)
中央	372人	1人	2人	14人	46人	43人
(%)	(77.8)	(0.2)	(0.4)	(2.9)	(9.6)	(9.0)
菖蒲	13人	100人	0人	3人	35人	8人
(%)	(8.2)	(62.9)	(0.0)	(1.9)	(22.0)	(5.0)
栗橋	22人	0人	72人	4人	8人	7人
(%)	(19.5)	(0.0)	(63.7)	(3.5)	(7.1)	(6.2)
鷺宮	90人	1人	8人	245人	30人	29人
(%)	(22.3)	(0.2)	(2.0)	(60.8)	(7.4)	(7.2)

複数回答あり

(*)…市外：加須市 38人、幸手市 28人、蓮田市 6人、白岡町 18人、杉戸町 9人、宮代町 8人、その他 12人

《職業》 前回のアンケート（平成22年度末実施）と同様に「専業主婦・専業主夫」「無職・その他」といった未就業者が利用者の半数以上を占めています。

「生徒・学生」「自由業・自営業」以外は概ね2割前後の利用者数となっています。

「生徒・学生」の割合が1割を超えているのは中央図書館と菖蒲図書館ですが、これは勉強にも使える座席があるためと考えられます。

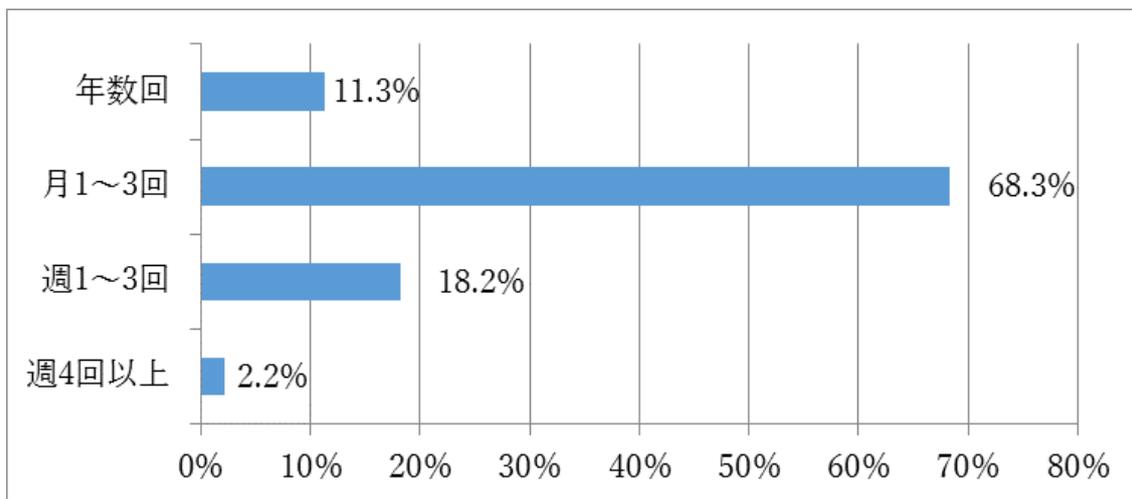
	生徒 学生	会社員 公務員	自由業 自営業	パート アルバイト	専業主婦 専業主夫	無職 その他	無回答
全体 (%)	102人 (8.9)	212人 (18.4)	58人 (5.0)	209人 (18.1)	302人 (26.2)	262人 (22.7)	9人 (0.8)
中央 (%)	61人 (12.7)	101人 (21.1)	25人 (5.2)	78人 (16.3)	100人 (20.9)	110人 (23.0)	4人 (0.8)
菖蒲 (%)	18人 (11.3)	33人 (20.8)	10人 (6.3)	30人 (18.9)	34人 (21.4)	31人 (19.5)	3人 (1.9)
栗橋 (%)	10人 (8.8)	24人 (21.2)	5人 (4.4)	19人 (16.8)	30人 (26.5)	25人 (22.1)	0人 (0.0)
鷺宮 (%)	13人 (3.2)	54人 (13.4)	18人 (4.5)	82人 (20.3)	138人 (34.2)	96人 (23.8)	2人 (0.5)

複数回答あり

【調査の結果】

図書館利用回数は

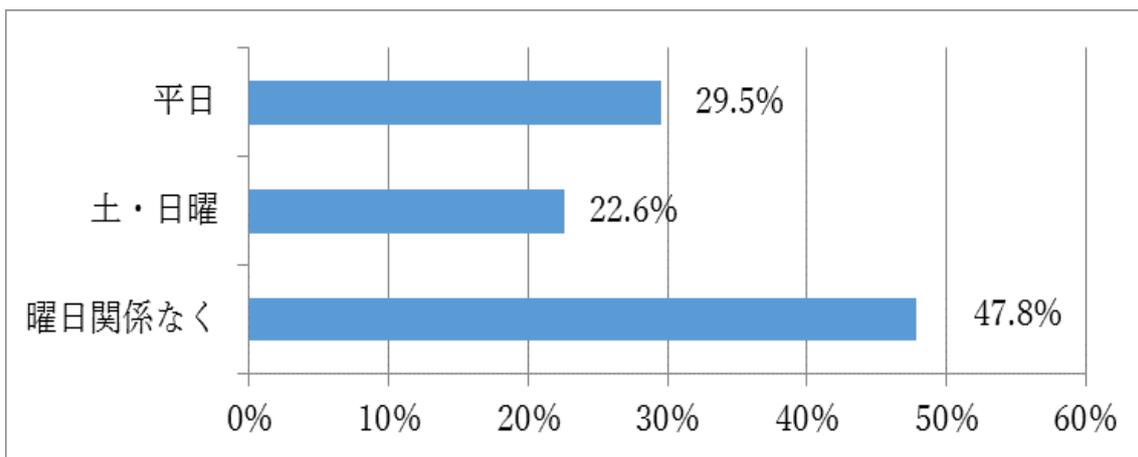
《利用頻度》 「月1～3回」の利用者が約7割を占めています。資料の貸出期限（15日間）のタイミングで来館される利用者が多いものと考えられます。



有効回答数=1137（無回答15を除外した数）

利用する曜日は（複数回答あり）

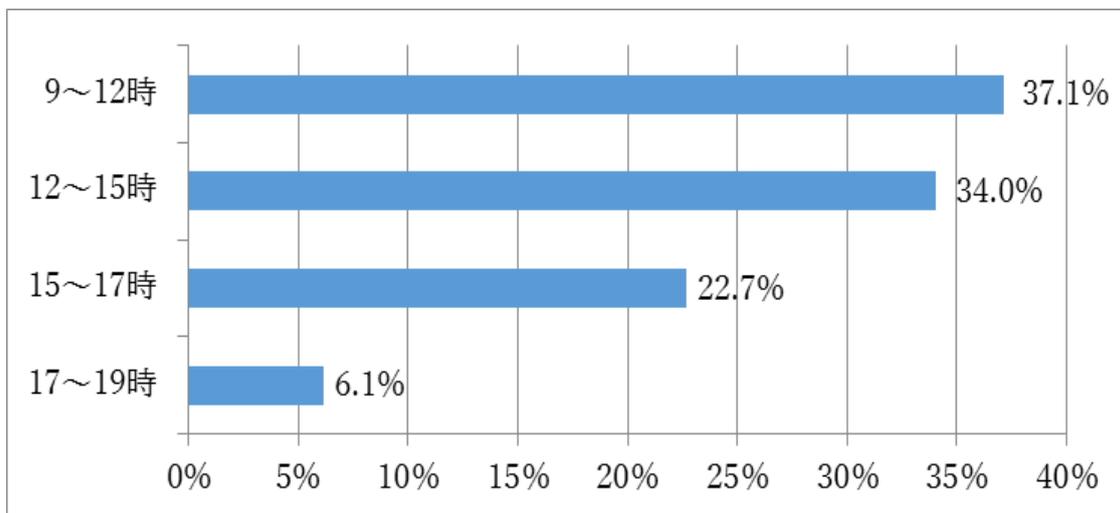
《曜日》 各館とも「曜日に関係なく」が最も多い結果となりました（栗橋図書室は「土・日曜」も同率）。中央図書館と鷺宮図書館については、前回のアンケート（平成22年度末実施）と比較すると、平日の割合が約2倍に増加し、土日が減少しています。



有効回答数=1110（無回答51は除外）

利用する時間帯は（複数回答あり）

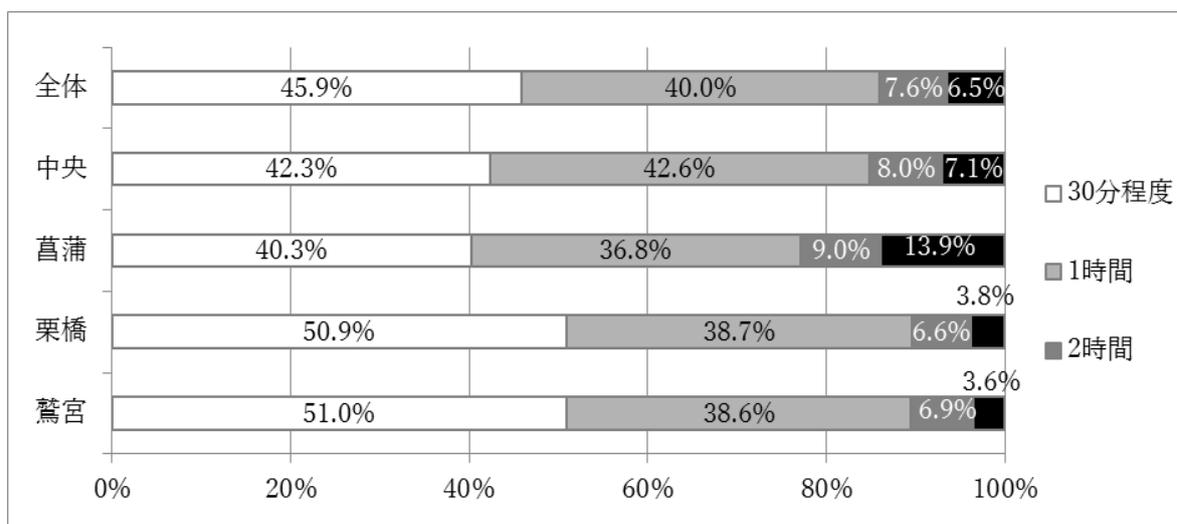
《時間帯》 全体的に午前中に利用される方が多く、遅い時間になるに従い利用が少なくなる傾向があります。利用者の半数を占める「専業主婦・専業主夫」「無職・その他」といった未就業者が利用者の半数以上を占めるためと考えられます。



有効回答数＝1172（無回答 88 は除外）

図書館滞在時間は（複数回答あり）

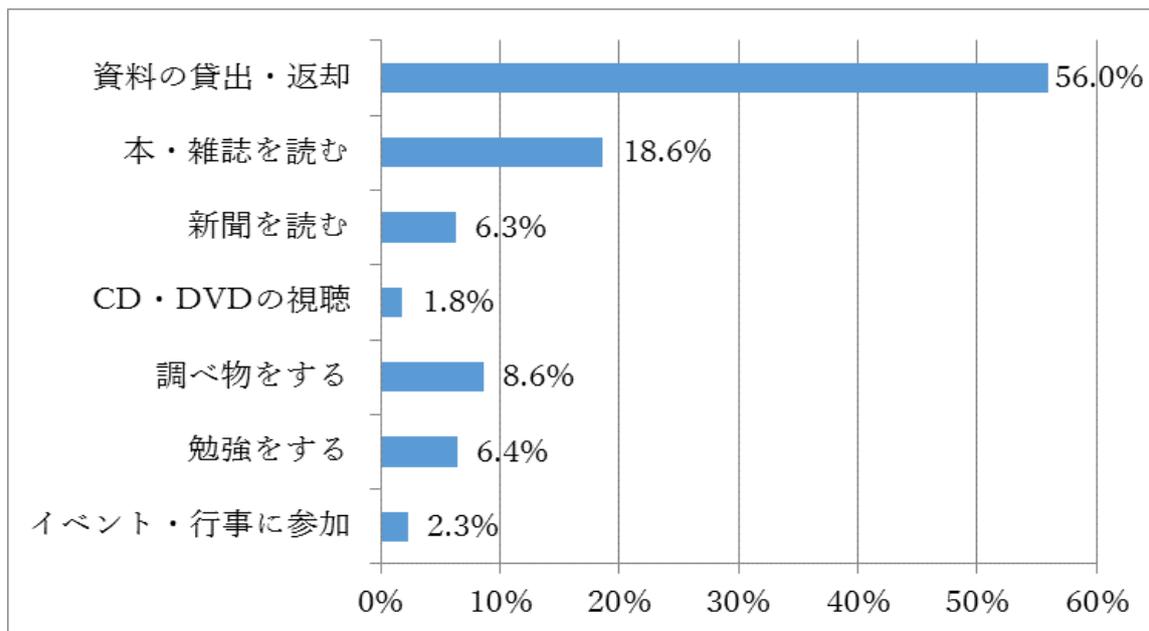
《滞在時間》 全体的に短時間で用事を済ます方が多数で、この傾向は前回のアンケート（平成22年度末実施）と同様です。「2時間以上」は前回よりも約5%減少しましたが、座席数の多い菖蒲図書館は約3%増加したため、最も滞在しやすい館と言えます。



有効回答数＝中央 437、菖蒲 144、栗橋 106、鷺宮 363、全体 1050（無回答 104 は除外）

図書館の利用目的は（複数回答可）

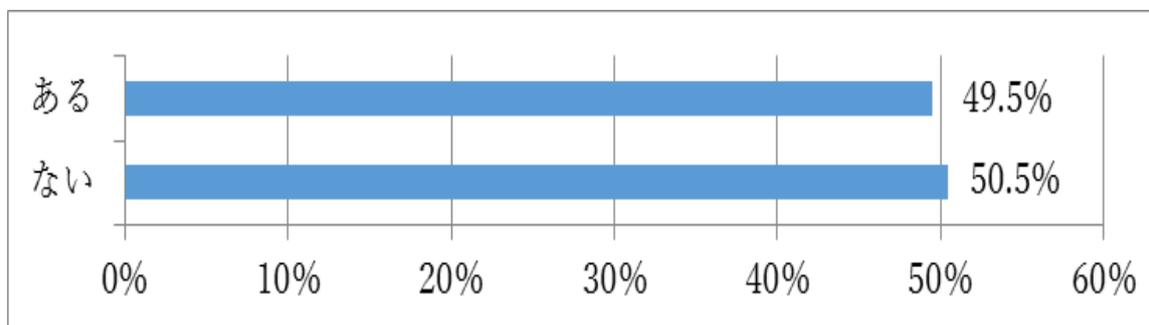
《利用目的》 来館される方のほとんどが「貸出・返却」を目的としています。次に「本・雑誌を読む」が多いですが、前回のアンケート（平成22年度末実施）と比較すると約1割減少しています。座席数不足が理由の一つと推測されます。前回、ほぼ0%だった「イベント・事業に参加」が2%強となりました。各館、事業を増加させた結果と考えられます。



有効回答数=1818（無回答2は除外）

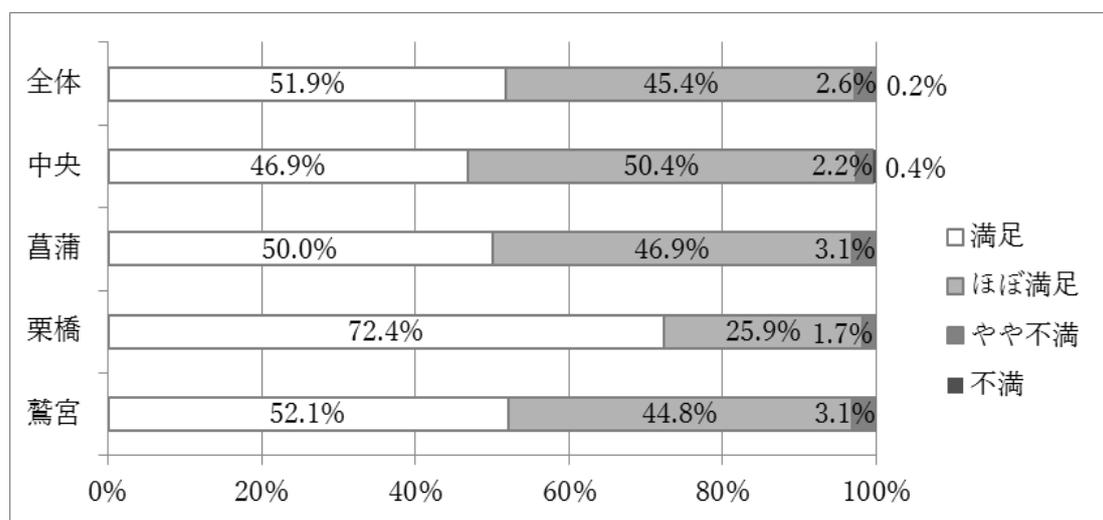
満足度について

《リクエストや調べ物についての職員への相談》 利用の有無は、前回のアンケート（平成22年度末実施）と同様にほぼ同じ割合でした。



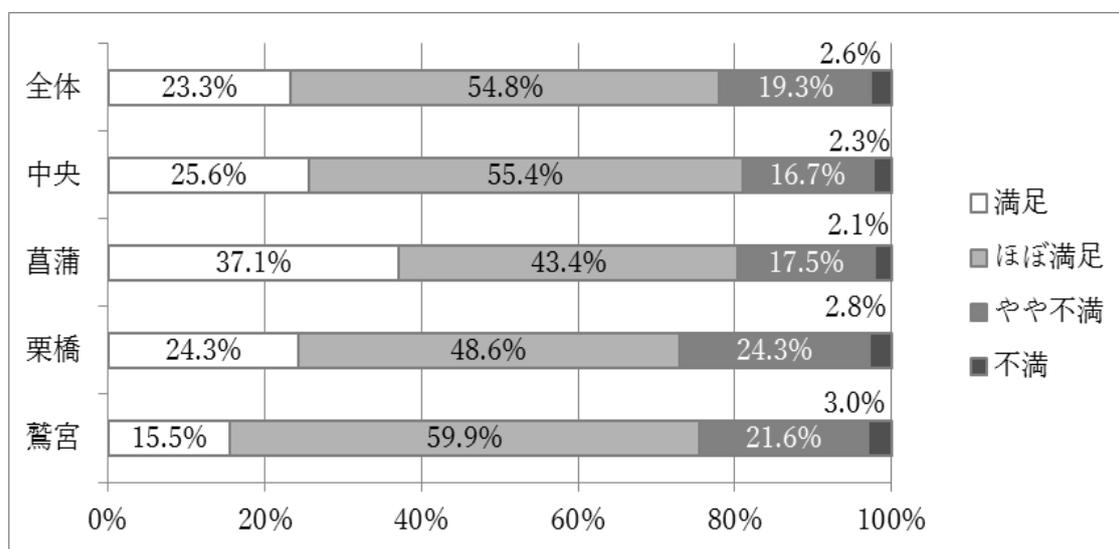
有効回答数=1092（無回答60は除外）

《リクエストや調べ物相談時の満足度》 「やや不満」「不満」をあわせても、各館3%程度、栗橋に至っては2%未満でした。9割以上の方にご満足いただいている状態です。



有効回答数＝中央 226、菖蒲 64、栗橋 58、鷺宮 192、全体 540（無回答 1 は除外）

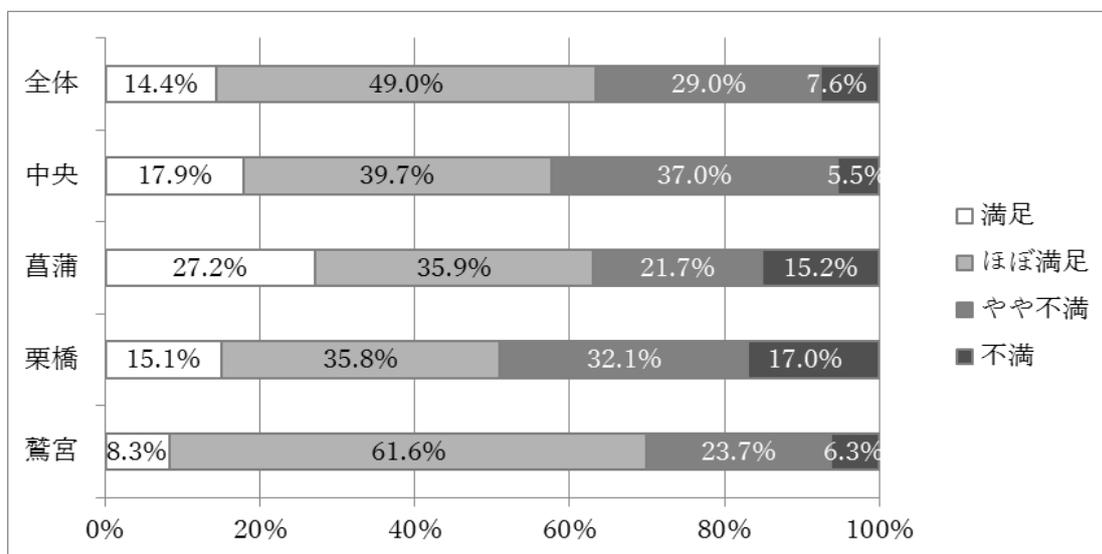
《図書・雑誌・新聞数》 全体では、「満足」「ほぼ満足」をあわせると 約8割を占めます。「不満」については各館とも3%以内に留まりました。



有効回答数＝中央 426、菖蒲 143、栗橋 107、鷺宮 399、全体 1075（無回答 77 は除外）

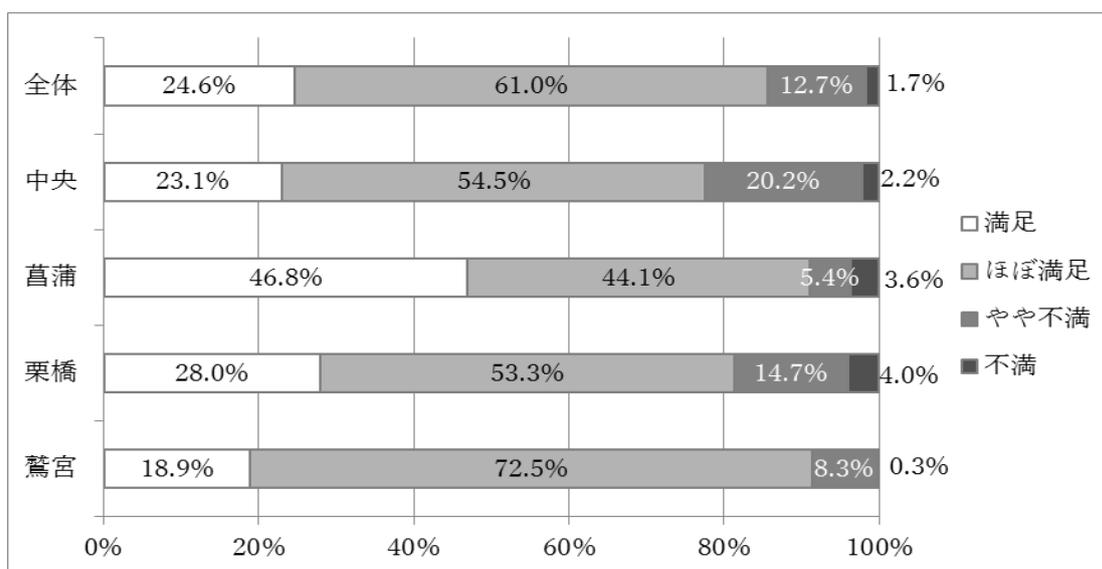
《CD・DVD数》 全体では「満足」「ほぼ満足」をあわせると6割以上を占めています。

栗橋図書室（視聴覚資料未所蔵）では、CDについては他館から取り寄せてご利用いただいていることから、「やや不満」「不満」が少し高い割合を示しています。



有効回答数＝中央 330、菖蒲 92、栗橋 53、鷺宮 396、全体 871（無回答 281 は除外）

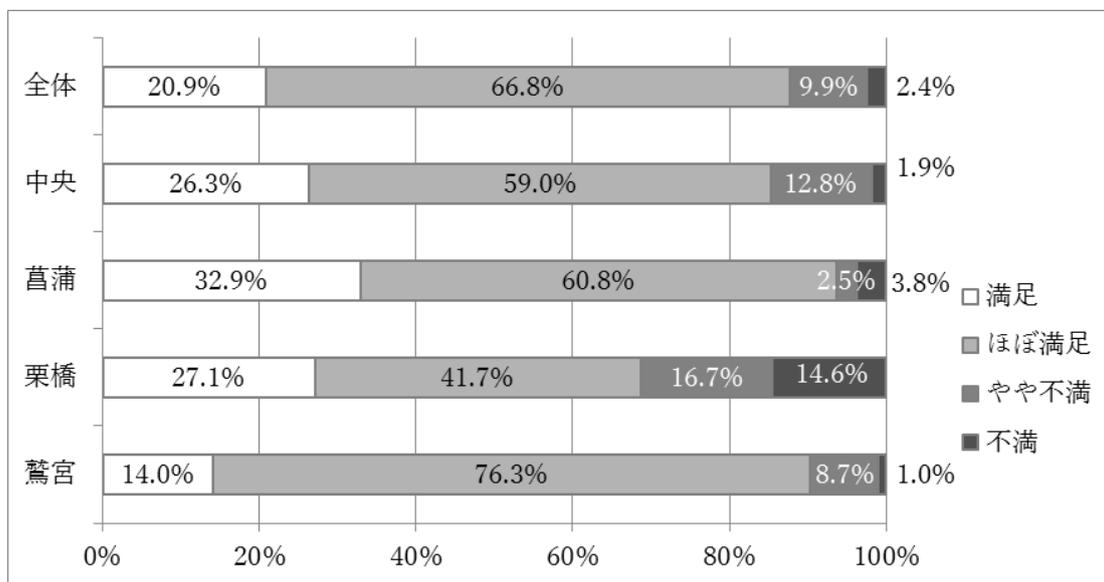
《閲覧席数》 全体では「満足」「ほぼ満足」をあわせると8割以上を占めます。菖蒲図書館と鷺宮図書館については9割以上を占めており、閲覧席に対する満足度が特に高いことがわかります。



有効回答数＝中央＝321、菖蒲＝111、栗橋＝75、鷺宮＝396、全体＝903（無回答 249 は除外）

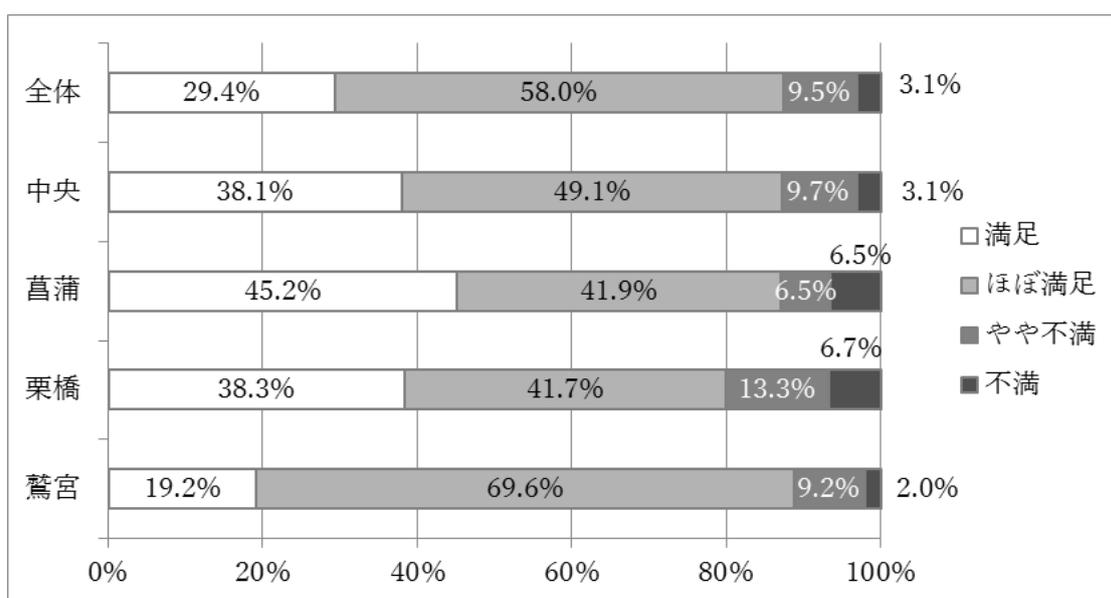
《視聴コーナー》 全体では「満足」「ほぼ満足」あわせて約8割以上を占めています。無回答が相当数ありましたので、視聴コーナーを利用していない方は多いようです。

栗橋図書室については、視聴コーナーを設置していませんので、回答は他館を利用した際の感想だと推測されます。



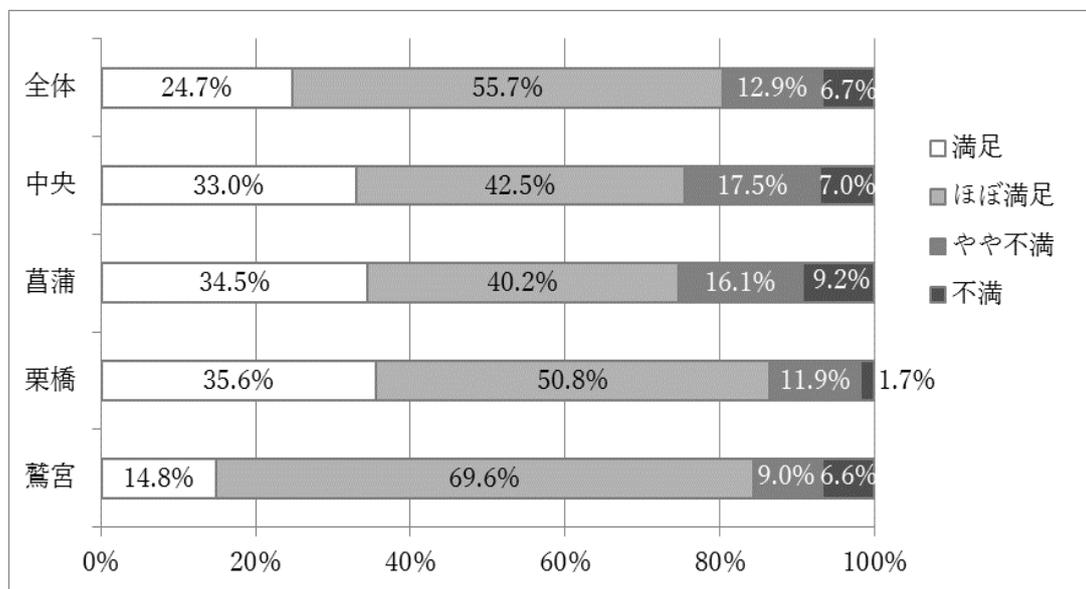
有効回答数＝中央＝266、菖蒲＝79、栗橋＝48、鷺宮＝392、全体＝785（無回答 367 は除外）

《インターネット蔵書検索・予約》 全体的に「満足」「ほぼ満足」をあわせると約8割以上と高い割合を示しています。インターネットでの予約については、平成27年度の実績が37,300件に上り、年々増加していることから、利便性の高い予約方法として活用されていることが伺えます。



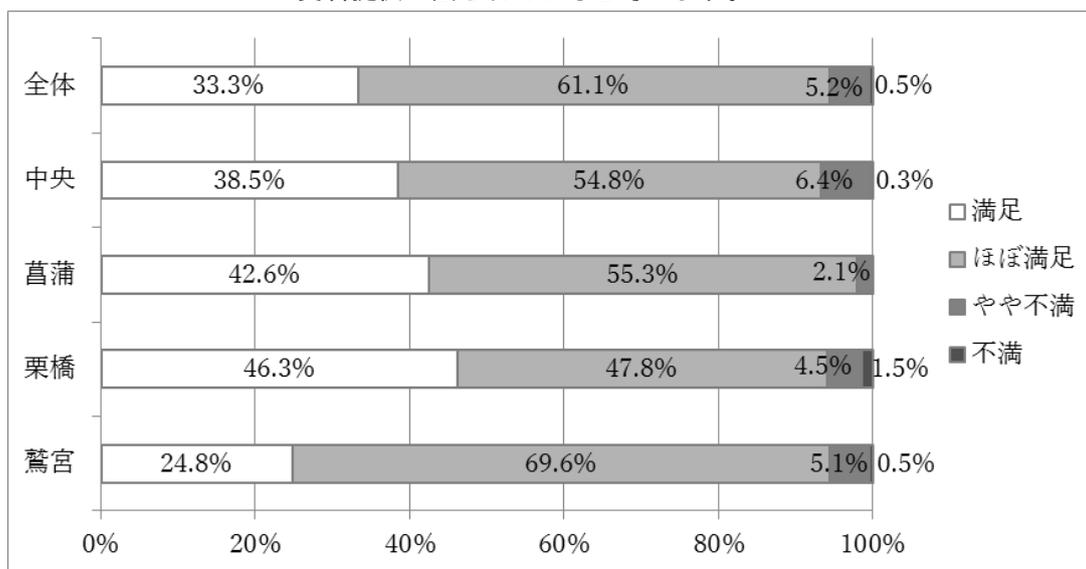
有効回答数＝中央＝289、菖蒲＝62、栗橋＝60、鷺宮＝391、全体＝802（無回答 330 は除外）

《館内利用者端末 蔵書検索》 全体では「満足」「ほぼ満足」をあわせた割合が約8割以上と高い割合を示していますが、アンケートの自由記述欄において、検索速度の遅さを指摘する意見が多数みられたため、不満を感じる方は多いようです。平成28年度中にシステム更新を行うことで改善する見込みとなっています。



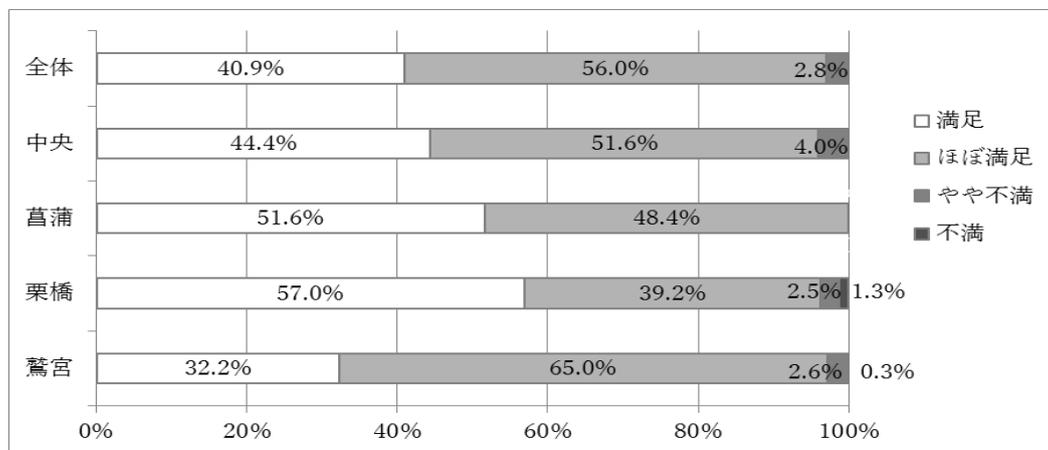
有効回答数＝中央＝285、菖蒲＝87、栗橋＝59、鷺宮＝391、全体＝822（無回答は330除外）

《リクエストサービス》 全体的に9割以上の方が「満足」「ほぼ満足」と回答しています。利用者ニーズが多様化する中、相互貸借などを活用しながら、円滑な資料提供が図られていると考えます。



有効回答数＝中央＝312、菖蒲＝94、栗橋＝67、鷺宮＝395、全体＝868（無回答284は除外）

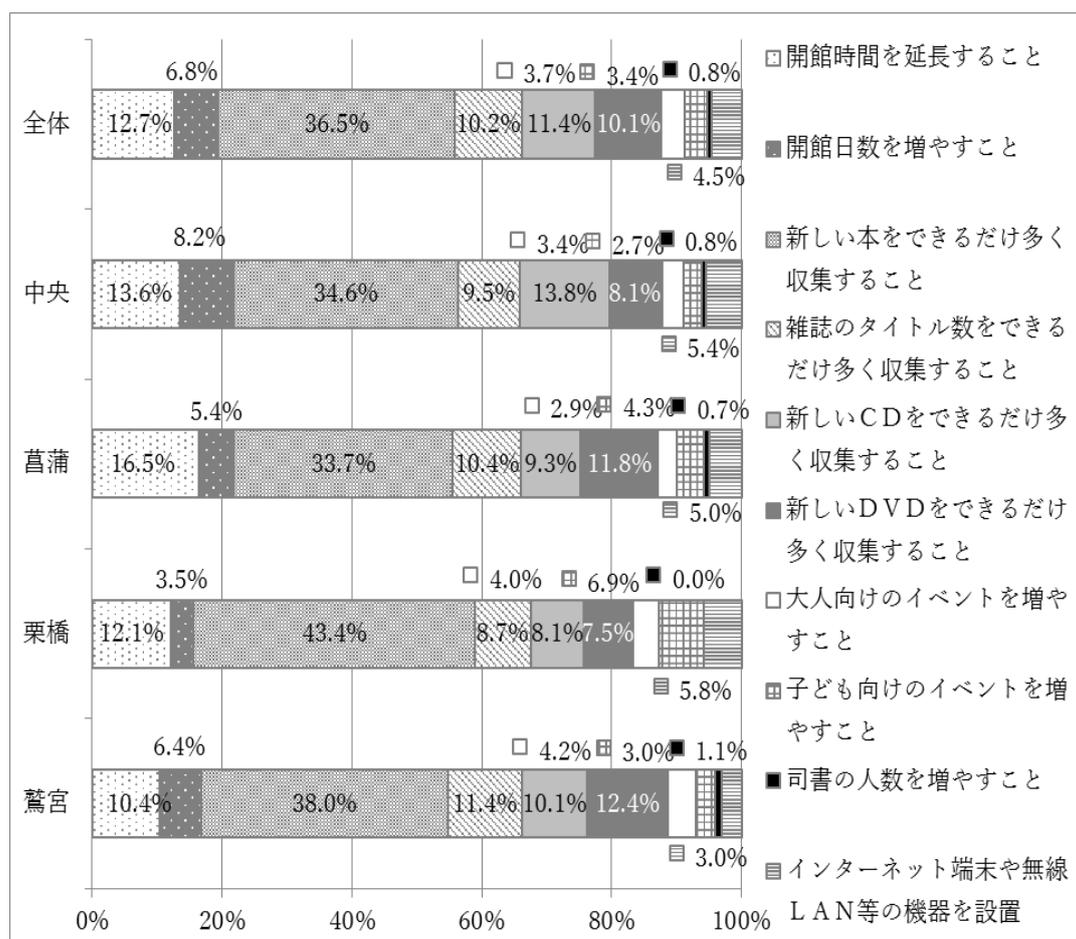
《質問・問い合わせ対応》 全体的に9割以上の方が「満足」「ほぼ満足」と回答しています。



有効回答数=中央=322、菖蒲=95、栗橋=79、鷺宮=391、全体=887（無回答 265 は除外）

図書館への要望（3つまで選択可）

《図書館への要望》 新しい資料の収集を望む声が各館ともに6割強ありました。



有効回答数=中央=855、菖蒲=279、栗橋=173、鷺宮=734、全体=2041（無回答 128 は除外）
上記回答割合の分母については、回答者数ではなく、回答の合計を用いています。

自由記述欄において複数あった意見

《図書館のイベントとして希望すること》

- ・映画会の充実
- ・著名人の講演会
- ・大人向けのイベント（講座、セミナー、朗読会、文学散歩、折り紙教室など）
- ・コンサート、音楽会
- ・読み聞かせやわらべうたの講座の充実

《子ども向けのサービスについて希望すること》

- ・読み聞かせの会を増やしてほしい。
- ・学校のブックトークで紹介した本をわかりやすいところに置いてほしい。
- ・本や紙芝居を選びやすいように、配架の工夫をしてほしい。
- ・年齢別のおすすめ本の紹介をしてほしい。また、年齢別に絵本等を配架してほしい。
- ・コメント付きで本の紹介・展示をしてほしい。
- ・小学生の夏休みの宿題に役立つようなサービスがあるとよい（イベント、資料提供など）。
- ・映画会、工作教室、観察会、季節ごとのイベントなどを増やしてほしい。

《図書館への意見・要望など》

- ・資料検索用端末への意見（動きが遅い、キーボード検索も可能にしてほしい）。
- ・W i - f i を整備してほしい。
- ・休館日は月曜ではない方がよい。
- ・自習できる席を増やしてほしい。
- ・新刊や話題の本など予約しても提供までに時間がかかる。
- ・土日祝の開館時間を長くしてほしい。
- ・乳幼児向けのスペースがほしい（靴を脱いで上がれる場所）。
- ・閉館時刻もっと遅くしてほしい（21時くらい）。
- ・マンガの充実
- ・本が選びやすくなるよう配架を工夫してほしい。
- ・休館日を減らしてほしい。
- ・インターネットが使えるパソコンを用意してほしい。
- ・駅で返却できるようにしてほしい（ポストの設置などで）。
- ・開館時刻を早めてほしい。
- ・学術的な資料の充実を希望
- ・本の汚れが気になる。
- ・視聴覚資料を置いてほしい（栗橋文化会館図書室）。
- ・閲覧室の照明が暗いと感じることがある。
- ・空調への不満
- ・駐車場の拡大を希望
- ・予約できる冊数を増やしてほしい。
- ・いつも楽しく利用している（現状に満足している）。

資料3 アンケート用紙 (平成23年、平成28年共通)

利用者アンケート

1 あなたについて、ご記入ください。

- ①住まい 市内(旧久喜市・旧菖蒲町・旧栗橋町・旧鷲宮町)
市外(加須・蓮田・幸手・宮代・白岡・杉戸・その他())
- ②職業

会社員・公務員、自由業・自営業、パート・アルバイト、学生、 専業主婦、無職、

- ③年齢 (10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上)
- ④性別 (男・女)
- ⑤図書館ホームページ (よく利用する・時々利用する・利用しない)

2 図書館利用回数は (年数回、月1~3回、週1~3回、週4回以上)

3 利用する曜日は(複数回答可) (平日、土・日曜、曜日関係なく)

4 利用する時間帯は(複数回答可) (9~12時、12~15時、15~17時、17~19時)

5 本日図書館の中にいた時間は (30分、1時間、2時間、2時間以上)

6 本日の図書館の利用目的は(複数回答可)

- () 本・雑誌・CD・DVDの貸出・返却
() 本を読む
() 新聞を読む
() 雑誌を読む
() CD・DVD視聴
() 調べ物
() 勉強
() 図書館事業への参加
() インターネットの利用

7 日ごろ利用する図書館は [中央、菖蒲、栗橋、鷲宮、その他() 図書館]
(複数回答可)

8 満足度について

- ①図書・雑誌・新聞の数 (満足・ほぼ満足・やや不満・不満)
②CD・DVDの数 (満足・ほぼ満足・やや不満・不満)
③閲覧席数 (満足・ほぼ満足・やや不満・不満)
④視聴コーナー (満足・ほぼ満足・やや不満・不満)
⑤インターネット蔵書検索・予約 (満足・ほぼ満足・やや不満・不満)
⑥館内利用者端末蔵書検索 (満足・ほぼ満足・やや不満・不満)
⑦リクエストサービス (満足・ほぼ満足・やや不満・不満)
⑧質問・問い合わせへの対応 (満足・ほぼ満足・やや不満・不満)

9 図書館事業(おはなし会・映画会・講座・講習会等)に参加したことがありますか。
(ある、ない、しらなかった)

10 図書館事業に参加したことのある方にお聞きします。
(満足・ほぼ満足・やや不満・不満)

11 障がい者サービス(障がい者郵送貸し出し)について
(知らない・知っている、利用したことがある)

12 高齢者サービス(大活字本・老眼鏡の設置等)について
(知らない・知っている、利用したことがある)

13 図書のリサイクルについて
(利用したことがある、利用したことがない)

14 図書資料を探すときどうしますか。
[職員に聞く、館内利用者端末でさがす、書棚を見る、自宅でインターネット検索
する]

15 今後、充実する必要がある図書資料は

- () 趣味・娯楽書
- () 文芸書
- () 実用書
- () 雑誌
- () 専門書
- () CD・DVD
- () 児童書

16 リクエストをしたり、調べ物について職員に相談したことがありますか。
(ある・ない)

17 図書館への要望について、3つまで○をつけてください。

- () 図書資料・視聴覚資料の充実
- () 子ども向け行事の拡充
- () 障がい者サービスの充実
- () 読書関連の講演会・講座の開催
- () 館内でパソコンやインターネットなどの利用ができるような環境整備
- () 図書館ホームページの内容の充実と情報発信
- () 職員の資質及びサービス提供能力の向上

18 その他、図書館へのご意見、ご要望がありましたらお書きください。

*****ご協力ありがとうございました*****

資料4 計画策定の経緯

日 程	実施項目	内 容
平成23年2月5日 ～2月22日	利用者アンケートの実施	
平成23年8月24日	平成23年度第1回図書館協議会	・これまでの計画の概要について説明
平成24年1月18日	平成23年度第2回図書館協議会	・計画素案について(諮問)
平成24年2月3日	平成23年度第3回図書館協議会	・計画素案について
平成24年3月10日 ～4月8日	パブリックコメントの実施	・計画素案を公表
平成24年5月2日	パブリックコメントの実施結果について公表	・パブリックコメントによる市民からの意見と市の考え方について公表
平成24年5月11日	平成24年度第1回図書館協議会	・パブリックコメントの実施結果について ・計画の最終原案について協議 ・計画の最終原案について(答申)
平成24年5月21日	教育委員会に付議	・パブリックコメントの実施結果について ・計画の最終原案について
平成24年5月	計画の策定・公表	
平成28年5月24日 ～6月7日	利用者アンケートの実施	
平成29年1月30日	平成28年度第2回図書館協議会	久喜市図書館サービス基本計画について(報告) ・計画期間の2ヵ年延長について
平成31年1月25日	平成30年度第4回図書館協議会	久喜市図書館サービス基本計画の一部変更について(諮問)
平成31年2月13日	平成30年度第5回図書館協議会	久喜市図書館サービス基本計画の一部変更について(答申)

資料5 久喜市立図書館協議会委員名簿

1 久喜市図書館サービス基本計画策定時

任期：平成22年8月17日から平成24年8月16日まで（下表は、平成24年5月11日時点）

	氏名	区分	備考
会長	山田 良男	学識経験者	
副会長	塩崎 勲	社会教育の関係者	
委員	難波 雅子	学校教育の関係者	
委員	関谷健太郎	家庭教育の向上に資する活動を行う者	
委員	渡邊 勤	学識経験者 ※	平成24年4月18日～平成24年8月16日
委員	武井南海子	学識経験者	
委員	岡田 孝道	学識経験者	
委員	倉持 良幸	公募による市民	
委員	奈良 千鶴	公募による市民	
委員	佐々木伸世	公募による市民	

※ 学識経験者 平成22年8月17日～平成23年3月31日 樋田 明男
平成23年5月21日～平成24年3月31日 橋本 整

2 久喜市図書館サービス基本計画第一回改正時

任期：平成28年8月17日から平成30年8月16日まで（下表は、平成29年1月30日時点）

	氏名	区分	備考
会長	塩崎 勲	学識経験者	
副会長	及川 孝之	学識経験者	
委員	塚越 要	学校教育の関係者	
委員	丸山 洋一	社会教育の関係者	
委員	山中 今日子	家庭教育の向上に資する活動を行う者	
委員	野原 正子	家庭教育の向上に資する活動を行う者	
委員	千葉 香乎里	学識経験者 ※	平成28年8月17日～平成29年8月4日
委員	横内 美沙代	公募による市民	
委員	奈良 千鶴	公募による市民	
委員	松本 秀樹	公募による市民	

※ 学識経験者 平成29年9月20日～平成30年8月16日 柴崎 行雄

3 久喜市図書館サービス基本計画第二回改正時

任期：平成30年8月17日から平成32（2020）年8月16日まで

	氏 名	区 分	備 考
会長	塩崎 勲	学識経験者	
副会長	高橋 和治	学識経験者	
委員	塚越 要	学校教育の関係者	
委員	玉置 政美	社会教育の関係者	
委員	沖沢 香織	家庭教育の向上に資する活動を行う者	
委員	成塚 義男	家庭教育の向上に資する活動を行う者	
委員	柴崎 行雄	学識経験者	
委員	早瀬 かおり	公募による市民	
委員	松本 秀樹	公募による市民	
委員	横内 美沙代	公募による市民	

久喜市図書館サービス基本計画

発行：平成24年5月 久喜市教育委員会

改正：平成29年1月

改正：平成31年2月

編集：久喜市教育委員会 中央図書館

〒346-0014

久喜市吉羽1丁目40番地1

TEL：0480-21-0114

FAX：0480-29-1184

E-mail chuo-toshokan.@city.kuki.lg.jp